

島根原子力発電所周辺 環境放射線等調査結果

平成26年度 第3・四半期

島 根 県

ま え が き

「平成26年度島根原子力発電所周辺環境放射線等測定計画」に基づき、発電所周辺地域の環境放射線等の調査を行った。

この報告書は、平成26年10月から12月の測定結果について、「島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会」において検討、確認されたものを取りまとめたものである。

目 次

I 環境放射線関係

1. 調査機関	1
2. 調査項目及び測定法	1
3. 調査結果の概要	2
4. 調査項目別測定結果	7
(1) 空間放射線	7
1) 積算線量	7
2) 線量率	8
(2) 地表面における人工放射能	17
(3) 環境試料中の放射能	18
1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種	18
2) トリチウム	25
3) ストロンチウム90	26

II 温排水関係

1. 調査機関	31
2. 調査項目及び測定法	31
3. 今期の島根原子力発電所の運転状況	31
(別図) 温排水測定定点図	32
4. 調査結果の概要	33
(1) 沖合定線	33
(2) 格子状定線	35
(3) 沿岸定点	36
(4) 水色	37
〔添付資料〕	
資料1-1 島根原子力発電所 沖合定線の水温	38
資料1-2 島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図	39
資料1-3 島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図	40
資料1-4 島根原子力発電所 基準水温より水温が高かった点の過去の出現範囲	41
資料2-1 島根原子力発電所 格子状定線の水温	42
資料2-2 島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図	46
資料2-3 島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図	48
資料3-1 島根原子力発電所 沿岸定点の水温	50
資料3-2 島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移	53
資料3-3 島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果	54

III. 参 考 資 料

1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果	55
2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況	56
3. 島根原子力発電所の運転状況	58
用語の解説	59

I 環境放射線關係

調査内容

平成26年10月～12月の調査内容は次のとおりである。

1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社

2. 調査項目及び測定法

調査項目		測定機関	測定法		測定機器
空間放射線	積算線量	島根県 中国電力	文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」による。		蛍光ガラス線量計 (RPLD)
	線量率 (モニタリングポスト)	島根県	エネルギー補償方式		NaI(Tl)シンチレーション検出器(深田北、北講武及び片句はゲルマニウム半導体検出器によるγ線エネルギー弁別装置付き)
人工放射能面密度		島根県	ゲルマニウム半導体検出器によるin-situ測定		高分解能γ線スペクトロメータ(高純度ゲルマニウム検出器)
環境試料中の放射能	ガンマ線放出核種の浮遊塵 海水 陸水 牛乳 植物農産物 海産生物	島根県	計測試料	分析法	高分解能γ線スペクトロメータ(高純度ゲルマニウム検出器)
			捕集フィルター	文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメータ」による。	
		島根県 中国電力	吸着物		
			濃縮物		
			生試料		
		灰化物(ヨウ素131以外の核種)	生体(ヨウ素131)		
トリチウム	島根県 中国電力	文部科学省編「トリチウム分析法」による。		低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置	

3. 調査結果の概要

今期の調査結果について、各々の測定項目ごとに詳細な検討を行ったが、島根原子力発電所による影響は認められなかった。

(1) 空間放射線

1) 積算線量

御津地点、古浦地点及び片句地点を除くすべての測定地点で、平常の変動幅内であった。御津地点、古浦地点については、局舎更新に伴い測定地点を更新したため、欠測とした。片句地点については、平成25年度に実施した局舎更新に伴って測定地点を更新したため、平常の変動幅は未設定である。

2) 線量率（モニタリングポストによる測定）

11月に手結、12月に末次、手結において平常の変動幅を超える線量率が測定された。いずれも降水による線量率の増加であった。

なお、西浜佐陀、御津、古浦においては、局舎更新のため11月から欠測している。また、平成25年度から手結南、池平、名分、魚瀬、上大野、東長江、比津、持田、大芦別所、加賀、出雲、安来、雲南で新たに測定を開始した。平成26年3月には深田北、片句、北講武で局舎の更新・移設を行った。そのため、これらの地点については、平常の変動幅は未設定である。

(2) 地表面における人工放射能

1) 人工放射能面密度

一部の地点でセシウム137が検出されたが、平常の変動幅内の値であり、過去の大気圏内核実験等によるものと考えられる。

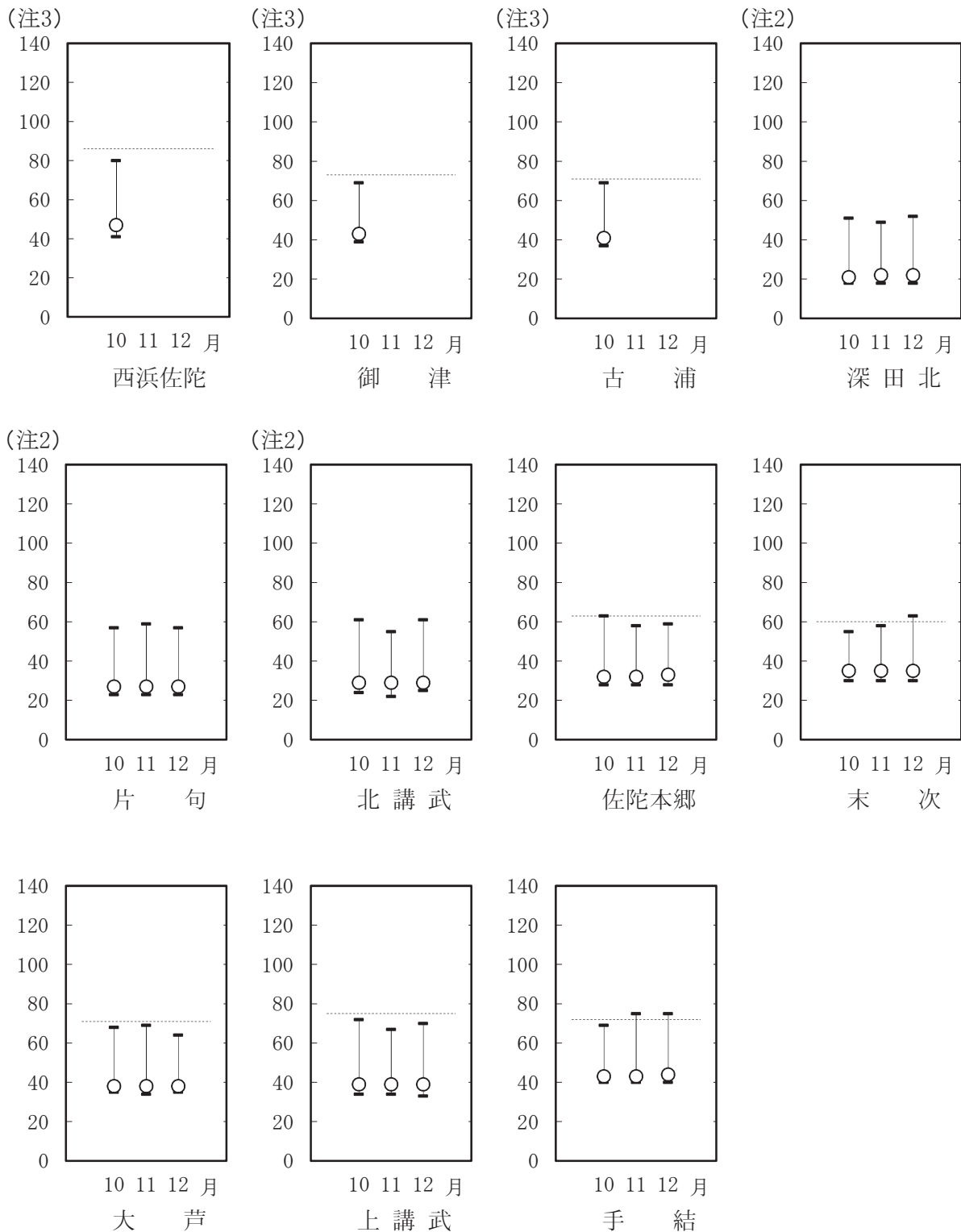
(3) 環境試料中の放射能

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

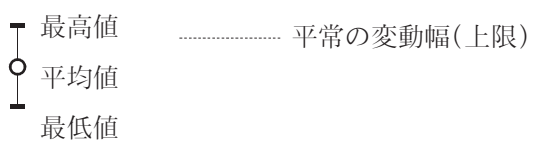
海水、海産生物からセシウム137が検出されたが、平常の変動幅内または一般の環境で認められる程度の値であり、過去の大気圏内核実験等によるものと考えられる。

2) トリチウム

今期はトリチウムは検出されなかった。



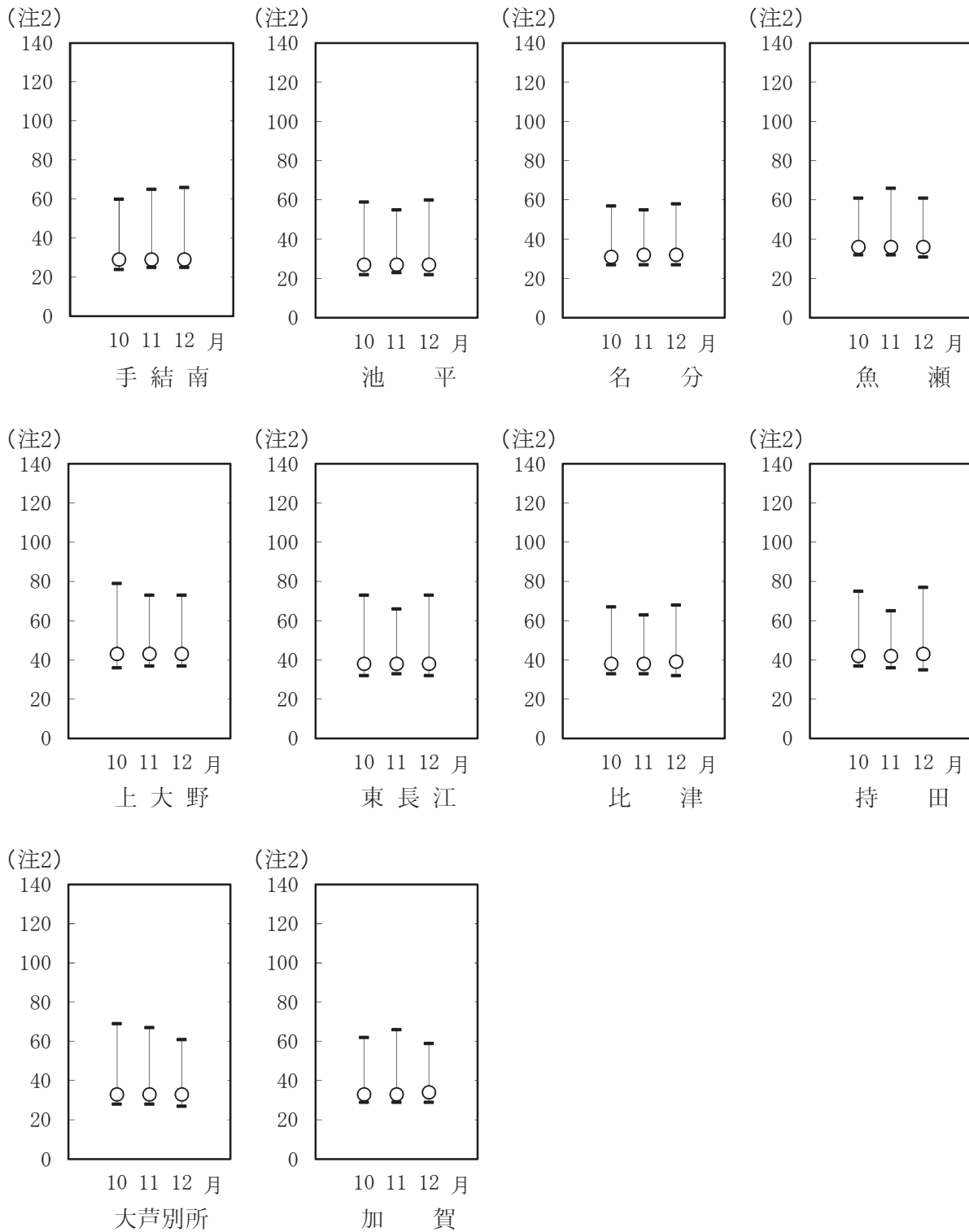
モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）



注1：モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

注2：平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

注3：西浜佐陀局、御津局、古浦局の11,12月については、局舎更新のため欠測とした。



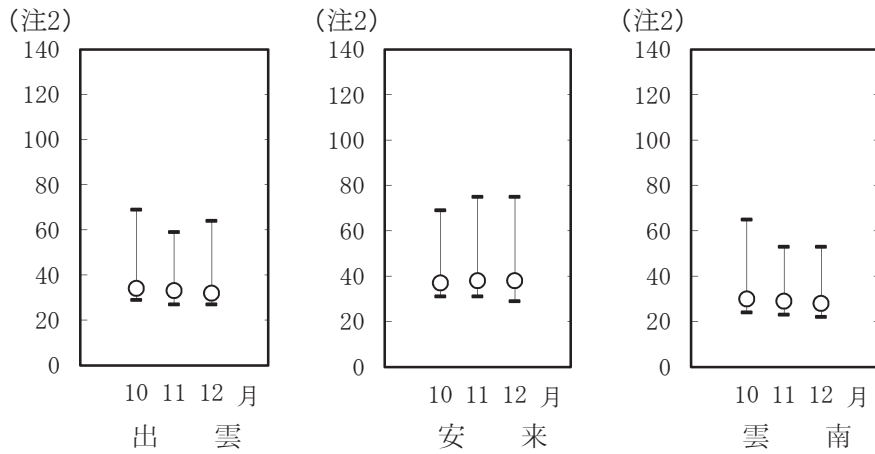
モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

最高値
 平均値
 最低値

----- 平常の変動幅(上限)

注1：モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

注2：平成25年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定である。



モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

┌───┐
 │ │
 ○ │
 │ │
 └───┘

 最高値
 ○ 平均値
 ┌───┐ 最低値

..... 平常の変動幅(上限)

注1：モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

注2：平成25年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定である。

環 境 試 料 中 の 放 射 能

ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

試料名		測定 試料数	測定結果						前年同期の ¹³⁷ Cs	単 位	
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs			
陸水	水道原水	4	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	mBq/ℓ	
植物	松 葉	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg (生)	
農産物	大 根	2	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND		
	ほうれん草	3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
	精 米	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
牛 乳	原 乳	2	/	/	/	/	ND	/	ND (¹³¹ I)	mBq/ℓ	
海 水		8	ND	ND	ND	ND	/	1.7~ 2.3	0.9~2.4		
海 産 物	さざえ	肉	2	ND	ND	ND	ND	/	0.04	ND~0.04	Bq/kg (生)
		内臓	2	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	
	あ ら め	2	ND	ND	ND	ND	/	0.09~ 0.10	0.06~0.08		

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

トリチウム

試料名		測定試料数	測 定 値	前年同期の測定値	単 位
海 水		5	ND	ND	Bq/ℓ
陸水	水道原水	2	ND	ND	

(注) NDは検出下限値未満を示す。

4. 調査項目別測定結果

(1) 空間放射線

1) 積算線量

単 位：【 mGy/90日 】

測定地点	測定値				平常の変動幅	年間線量 (mGy/365日)	測定者	備考
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
一 矢	0.15	0.15	0.15		0.14~0.17		中国電力	
佐 陀 本 郷	0.12	0.13	0.13		0.12~0.14		"	
深 田	0.11	0.12	0.12		0.11~0.13		"	
片 句	0.12	0.13	0.13		(注3)		島根県	
	0.12	0.13	0.13				中国電力	
御 津	0.14	0.15	欠測 (注4)		0.14~0.17		島根県	
	0.14	0.15	欠測 (注4)				中国電力	
旦 過	0.13	0.13	0.13		0.12~0.15		"	
古 浦	0.14	0.14	欠測 (注4)		0.13~0.15		島根県	
	0.13	0.14	欠測 (注4)				中国電力	
恵 曇	0.12	0.13	0.12		0.12~0.14		"	
手 結	0.10	0.11	0.11		0.10~0.12		"	
上 講 武	0.14	0.15	0.15		0.15~0.17		島根県	
南 講 武	0.12	0.12	0.12		0.12~0.13		"	
	0.12	0.12	0.12				中国電力	
佐 陀 宮 内	0.15	0.15	0.15		0.14~0.16		島根県	
大 芦	0.14	0.14	0.14		0.14~0.15		"	
加 賀	0.12	0.13	0.13		0.12~0.14		"	
西 生 馬	0.15	0.16	0.15		0.15~0.17		"	
西 川 津	0.14	0.14	0.14		0.13~0.15		"	

- (注) 1. 測定方法 蛍光ガラス線量計 (RPLD) で測定した。
 2. 積算線量の「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. 片句地点は平成25年度第4四半期に局舎更新に伴って測定地点を変更したため「平常の変動幅」は未設定である。
 4. 御津地点、古浦地点については、局舎更新のため欠測とした。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		4月	5月	6月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	46	47	47	86	
	最 高 値	69	69	60		
	最 低 値	42	42	41		
御 津	平 均 値	41	41	42	73	
	最 高 値	55	59	59		
	最 低 値	38	38	39		
古 浦	平 均 値	40	41	40	71	
	最 高 値	55	60	59		
	最 低 値	37	38	38		
深 田 北	平 均 値	19	20	20	(注5)	
	最 高 値	32	44	42		
	最 低 値	17	18	18		
片 匂	平 均 値	25	25	25	(注5)	
	最 高 値	38	50	50		
	最 低 値	22	22	23		
北 講 武	平 均 値	27	27	27	(注5)	
	最 高 値	40	47	42		
	最 低 値	24	21	24		
佐 陀 本 郷	平 均 値	30	31	32	63	
	最 高 値	45	53	49		
	最 低 値	27	27	28		
末 次	平 均 値	34	34	34	60	
	最 高 値	49	48	48		
	最 低 値	30	31	30		
大 芦	平 均 値	37	38	37	71	
	最 高 値	51	56	56		
	最 低 値	34	34	35		
上 講 武	平 均 値	38	38	37	75	
	最 高 値	52	58	51		
	最 低 値	33	34	32		
手 結	平 均 値	43	43	43	72	
	最 高 値	56	65	67		
	最 低 値	40	40	40		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3"φ球形 NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50 keV~3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)(注5)	備 考
		4月	5月	6月		
手 結 南	平 均 値	27	28	28		
	最 高 値	44	54	57		
	最 低 値	24	25	24		
池 平	平 均 値	25	25	25		
	最 高 値	45	50	47		
	最 低 値	21	22	22		
名 分	平 均 値	30	31	31		
	最 高 値	43	47	45		
	最 低 値	26	27	27		
魚 瀬	平 均 値	35	35	35		
	最 高 値	47	60	61		
	最 低 値	30	32	31		
上 大 野	平 均 値	42	43	42		
	最 高 値	59	65	74		
	最 低 値	37	38	38		
東 長 江	平 均 値	37	38	37		
	最 高 値	65	59	61		
	最 低 値	32	33	33		
比 津	平 均 値	37	37	37		
	最 高 値	50	56	52		
	最 低 値	32	34	33		
持 田	平 均 値	41	41	41		
	最 高 値	58	58	60		
	最 低 値	35	35	37		
大 芦 別 所	平 均 値	31	32	32		
	最 高 値	47	58	47		
	最 低 値	27	28	28		
加 賀	平 均 値	32	33	33		
	最 高 値	45	54	47		
	最 低 値	28	29	29		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2"φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため「平常の変動幅」は未設定である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)(注5)	備 考
		4月	5月	6月		
出 雲	平 均 値	34	35	34		
	最 高 値	50	60	53		
	最 低 値	30	30	28		
安 来	平 均 値	39	38	35		
	最 高 値	52	60	55		
	最 低 値	34	30	29		
雲 南	平 均 値	29	29	29		
	最 高 値	41	46	49		
	最 低 値	24	25	24		

- (注)
1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため「平常の変動幅」は未設定である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		7月	8月	9月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	47	47	86	
	最 高 値	81	87	68		
	最 低 値	42	41	43		
御 津	平 均 値	42	42	42	73	
	最 高 値	70	77	59		
	最 低 値	39	38	39		
古 浦	平 均 値	41	41	41	71	
	最 高 値	69	71	59		
	最 低 値	38	37	38		
深 田 北	平 均 値	21	21	20	(注5)	
	最 高 値	53	55	43		
	最 低 値	18	18	18		
片 旬	平 均 値	26	27	26	(注5)	
	最 高 値	62	64	47		
	最 低 値	23	23	23		
北 講 武	平 均 値	28	28	28	(注5)	
	最 高 値	60	69	52		
	最 低 値	24	24	24		
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	32	31	63	
	最 高 値	62	64	53		
	最 低 値	28	28	29		
末 次	平 均 値	34	34	34	60	
	最 高 値	56	64	48		
	最 低 値	30	30	31		
大 芦	平 均 値	38	38	37	71	
	最 高 値	72	75	59		
	最 低 値	34	34	35		
上 講 武	平 均 値	38	38	38	75	
	最 高 値	70	79	63		
	最 低 値	34	34	35		
手 結	平 均 値	43	43	43	72	
	最 高 値	72	73	59		
	最 低 値	40	39	40		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3"φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 :【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)(注5)	備 考
		7月	8月	9月		
手 結 南	平 均 値	28	29	28		
	最 高 値	62	64	49		
	最 低 値	24	24	24		
池 平	平 均 値	26	26	26		
	最 高 値	59	62	49		
	最 低 値	21	22	22		
名 分	平 均 値	31	31	31		
	最 高 値	57	64	49		
	最 低 値	27	27	27		
魚 瀬	平 均 値	35	35	35		
	最 高 値	65	67	51		
	最 低 値	31	31	31		
上 大 野	平 均 値	43	42	43		
	最 高 値	72	77	63		
	最 低 値	38	37	38		
東 長 江	平 均 値	38	37	38		
	最 高 値	68	76	59		
	最 低 値	33	32	33		
比 津	平 均 値	37	37	37		
	最 高 値	66	74	56		
	最 低 値	33	33	33		
持 田	平 均 値	42	42	42		
	最 高 値	73	85	67		
	最 低 値	35	36	36		
大 芦 別 所	平 均 値	32	33	32		
	最 高 値	66	83	57		
	最 低 値	28	28	28		
加 賀	平 均 値	33	33	33		
	最 高 値	66	64	52		
	最 低 値	29	29	29		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため「平常の変動幅」は未設定である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)(注5)	備 考
		7月	8月	9月		
出 雲	平 均 値	32	33	33		
	最 高 値	69	67	56		
	最 低 値	28	27	29		
安 来	平 均 値	36	34	36		
	最 高 値	68	66	60		
	最 低 値	29	28	30		
雲 南	平 均 値	28	29	29		
	最 高 値	56	62	54		
	最 低 値	23	24	24		

- (注)
1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2"φ円筒形 NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50 keV~3 MeV のエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため「平常の変動幅」は未設定である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		10月	11月	12月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	欠測(注6)	欠測(注6)	86	
	最 高 値	80				
	最 低 値	41				
御 津	平 均 値	43	欠測(注6)	欠測(注6)	73	
	最 高 値	69				
	最 低 値	39				
古 浦	平 均 値	41	欠測(注6)	欠測(注6)	71	
	最 高 値	69				
	最 低 値	37				
深 田 北	平 均 値	21	22	22	(注5)	
	最 高 値	51	49	52		
	最 低 値	18	18	18		
片 匂	平 均 値	27	27	27	(注5)	
	最 高 値	57	59	57		
	最 低 値	23	23	23		
北 講 武	平 均 値	29	29	29	(注5)	
	最 高 値	61	55	61		
	最 低 値	24	22	25		
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	32	33	63	
	最 高 値	63	58	59		
	最 低 値	28	28	28		
末 次	平 均 値	35	35	35	60	
	最 高 値	55	58	63		
	最 低 値	30	30	30		
大 芦	平 均 値	38	38	38	71	
	最 高 値	68	69	64		
	最 低 値	35	34	35		
上 講 武	平 均 値	39	39	39	75	
	最 高 値	72	67	70		
	最 低 値	34	34	33		
手 結	平 均 値	43	43	44	72	
	最 高 値	69	75	75		
	最 低 値	40	40	40		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3"φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。
 6. 西浜佐陀、御津、古浦は局舎更新のため欠測とした。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)(注5)	備 考
		10月	11月	12月		
手 結 南	平 均 値	29	29	29		
	最 高 値	60	65	66		
	最 低 値	24	25	25		
池 平	平 均 値	27	27	27		
	最 高 値	59	55	60		
	最 低 値	22	23	22		
名 分	平 均 値	31	32	32		
	最 高 値	57	55	58		
	最 低 値	27	27	27		
魚 瀬	平 均 値	36	36	36		
	最 高 値	61	66	61		
	最 低 値	32	32	31		
上 大 野	平 均 値	43	43	43		
	最 高 値	79	73	73		
	最 低 値	36	37	37		
東 長 江	平 均 値	38	38	38		
	最 高 値	73	66	73		
	最 低 値	32	33	32		
比 津	平 均 値	38	38	39		
	最 高 値	67	63	68		
	最 低 値	33	33	32		
持 田	平 均 値	42	42	43		
	最 高 値	75	65	77		
	最 低 値	37	36	35		
大 芦 別 所	平 均 値	33	33	33		
	最 高 値	69	67	61		
	最 低 値	28	28	27		
加 賀	平 均 値	33	33	34		
	最 高 値	62	66	59		
	最 低 値	29	29	29		

- (注)
1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2"φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため「平常の変動幅」は未設定である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)(注5)	備 考
		10月	11月	12月		
出 雲	平 均 値	34	33	32		
	最 高 値	69	59	64		
	最 低 値	29	27	27		
安 来	平 均 値	37	38	38		
	最 高 値	69	75	75		
	最 低 値	31	31	29		
雲 南	平 均 値	30	29	28		
	最 高 値	65	53	53		
	最 低 値	24	23	22		

- (注)
1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2"φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
 5. 平成25年度から測定を開始したため「平常の変動幅」は未設定である。

(2) 地表面における人工放射能

1) 人工放射能面密度

単 位 : 【 kBq/m² 】

測定地点	測定月日	対 象 核 種						¹³⁷ Cs 平常の変動幅	備 考
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs		
片 旬	5月30日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月11日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
手 結	5月30日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	11月11日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
古 浦	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.02	
	11月11日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
佐 陀 本 郷	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND~0.03	
	11月12日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
西 生 馬	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月12日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
西 川 津	5月27日	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.01~0.06	
	11月11日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
加 賀	5月28日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
大 芦	5月28日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND~0.03	
	11月13日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
御 津	5月28日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月13日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
上 講 武	5月30日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	11月11日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
北 講 武	5月28日	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.01~0.05	
	11月27日	ND	ND	ND	ND	ND	0.02		
佐 陀 宮 内	5月28日	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.01~0.05	
	11月12日	ND	ND	ND	ND	ND	0.05		
西 浜 佐 陀	5月30日	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.01~0.05	
	11月13日	ND	ND	ND	ND	ND	0.04		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 ゲルマニウム半導体検出器による in-situ 測定 (地上高1m)
 3. 対象核種は地表面分布していると仮定した。
 4. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。

(3) 環境試料中の放射能

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

浮遊塵

単位:【 $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 】

採取地点	採取期間	対象核種					天然核種		測定者	^{137}Cs 平常の変動幅
		^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{137}Cs	^7Be	^{40}K		
御津	4月1日~5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5000	ND	島根県	ND
	5月1日~5月30日	ND	ND	ND	ND	ND	4600	ND	〃	
	5月30日~6月30日	ND	ND	ND	ND	ND	3700	ND	〃	
	6月30日~7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	2300	ND	〃	
	7月31日~8月29日	ND	ND	ND	ND	ND	1500	ND	〃	
	8月29日~9月29日	ND	ND	ND	ND	ND	3800	ND	〃	
	(注4)								〃	
	(注4)								〃	
	(注4)								〃	
	月日~月日								〃	
月日~月日								〃		
月日~月日								〃		
古浦	4月1日~5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4800	ND	〃	ND
	5月1日~5月30日	ND	ND	ND	ND	ND	4600	ND	〃	
	5月30日~6月30日	ND	ND	ND	ND	ND	3600	ND	〃	
	6月30日~7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	2400	32	〃	
	7月31日~8月29日	ND	ND	ND	ND	ND	1600	ND	〃	
	8月29日~9月29日	ND	ND	ND	ND	ND	3700	31	〃	
	(注4)								〃	
	(注4)								〃	
	(注4)								〃	
	月日~月日								〃	
月日~月日								〃		
月日~月日								〃		
西浜佐陀	4月1日~5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5300	ND	〃	(ND) (注3)
	5月1日~5月30日	ND	ND	ND	ND	ND	5100	ND	〃	
	5月30日~6月30日	ND	ND	ND	ND	ND	3700	45	〃	
	6月30日~7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	2200	ND	〃	
	7月31日~8月29日	ND	ND	ND	ND	ND	1400	ND	〃	
	8月29日~9月29日	ND	ND	ND	ND	ND	3600	ND	〃	
	(注4)								〃	
	(注4)								〃	
	(注4)								〃	
	月日~月日								〃	
月日~月日								〃		
月日~月日								〃		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ^{137}Cs 「平常の変動幅」は平成14~22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 西浜佐陀地点については、平成20年度より測定を開始したので、平成20~22年度及び平成25年度の値を参考値として記載した。
 4. 御津地点の10~12月、古浦地点の10~12月、西浜佐陀地点の10~12月については、局舎更新に伴いサンプリングを停止したので欠測とした。

陸 水

単 位 : 【 mBq/l 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K			
池 水	表 層 水	一 矢	5 月 20 日	ND	ND	ND	ND	ND	18	67	島 根 県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	12	54	中国電力	
	上 講 武	5 月 20 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	25	"	ND	
水 道 原 水	着 水	古 志 浄 水 場	5 月 20 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	34	島 根 県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	29	中国電力	
			11 月 7 日	ND	ND	ND	ND	ND	8.6	32	島 根 県	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	28	中国電力	
	井 水	忌 部 浄 水 場	5 月 20 日	ND	ND	ND	ND	ND	13	50	島 根 県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	46	中国電力	
			11 月 7 日	ND	ND	ND	ND	ND	18	52	島 根 県	
				ND	ND	ND	ND	ND	11	48	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14年～22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。

植 物

単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試 料 名	部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種						天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
松 葉	2 年 葉	御 津	4 月 17 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	19	68	島 根 県	ND～0.10
		一 矢	10 月 21 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	43	62	"	ND～0.04
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	39	57	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14～22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。

農 産 物

単 位 :【 Bq/kg(生) 】

試料名	部 位	採 取 地 点	採取月日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be			⁴⁰ K
大 根	根	御 津	12月9日	ND	ND	ND	ND		ND	0.30	70	島 根 県	ND
		根連木	4月7日	ND	ND	ND	ND		ND	0.97	53	中国電力	ND~0.06
			12月12日	ND	ND	ND	ND		ND	0.27	68	島 根 県	
ほうれん草	葉	御 津	12月9日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17	200	"	ND
		根連木	12月12日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	13	200	"	ND~0.03
				ND	ND	ND	ND		ND	9.1	190	中国電力	
キャベツ	葉	御 津	5月7日	ND	ND	ND	ND		ND	0.15	60	島 根 県	ND
		根連木	5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	0.53	57	"	ND~0.06
精米		尾 坂	10月1日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	22	"	ND
				ND	ND	ND	ND		ND	ND	21	中国電力	
茶	葉	北講武	5月14日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	20	140	島 根 県	ND~0.08
				ND	ND	ND	ND	ND	0.03	24	140	中国電力	

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14~22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。

牛 乳

単 位：【 mBq/l 】

試 料 名	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種		測 定 者
			¹³¹ I		
原 乳	南 講 武	4 月 9 日	ND		島 根 県
			ND		中 国 電 力
		8 月 19 日	ND		島 根 県
		10 月 1 日	ND		"
			ND		中 国 電 力
月 日				島 根 県	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
2. ¹³¹Iのみが測定対象である。

陸 土 (濃 度)

単 位：【 Bq/kg(風乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	1.0	9.6	170	島 根 県	ND~2.1
	片 句	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	8.2	630	"	(ND~0.83) (注3)
	佐 陀 宮 内	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	7.7	20	410	"	1.9~32
			ND	ND	ND	ND	4.0	ND	440	中国電力	
西 浜 佐 陀	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	3.5	21	740	島 根 県	(1.0~3.0) (注4)	

陸 土 (面 密 度)

単 位：【 kBq/m² 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be			
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	0.03	0.27		島 根 県	ND~0.12
	片 句	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	0.38		"	(ND~0.04) (注3)
	佐 陀 宮 内	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	0.29	0.75		"	0.07~2.2
			ND	ND	ND	ND	0.19	ND		中国電力	
西 浜 佐 陀	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	0.10	0.62		島 根 県	(0.08~0.12) (注4)	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14~22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。
平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
3. 片句地点の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成20年度より採取ポイントを移動したため、平成20~22年度及び平成25年度の値を参考値として記載した。
4. 西浜佐陀地点の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成20年度より測定を開始したため、平成20~22年度及び平成25年度の値を参考値として記載した。
5. 面密度の表は、濃度の表の値を換算したものである。

海 水

単 位 : 【 mBq/l 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者	¹³⁷ Cs 平 常 の 変 動 幅	
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
表 層 水	1 号機放水口	4 月 22 日	ND	ND	ND	ND	1.8	島 根 県	0.84~2.7	
			ND	ND	ND	ND	1.8	中国電力		
		10 月 23 日	ND	ND	ND	ND	2.1	島 根 県		
			ND	ND	ND	ND	1.9	中国電力		
	2 号機放水口付近	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	2.2	島 根 県		ND~2.5
		10 月 10 日	ND	ND	ND	ND	1.9	中国電力		
	3 号機放水口付近	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	1.6	島 根 県		1.1~2.4
		10 月 10 日	ND	ND	ND	ND	2.0	中国電力		
	取 水 口	4 月 22 日	ND	ND	ND	ND	2.0	"	1.3~2.9	
		10 月 23 日	ND	ND	ND	ND	1.7	"		
	1 号機放水口沖	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	2.0	島 根 県	1.4~2.4	
		10 月 10 日	ND	ND	ND	ND	2.3	"		
	2・3 号機放水口沖	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	1.9	"	1.3~2.4	
		10 月 10 日	ND	ND	ND	ND	2.2	"		
	手 結 沖	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	2.0	"	ND~2.6	
		10 月 9 日	ND	ND	ND	ND	1.8	中国電力		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14~22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 3号機放水口付近については、平成21年度より測定を開始したので、平成21~22年度及び平成25年度の値を参考値として記載した。
 4. 天然核種 (⁷Be、⁴⁰K) は、試料調製過程で除去され測定出来ない。

海 底 土

単 位 : 【 Bq/kg(風乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平 常 の 変 動 幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
表 層 底 質	1 号機放水口沖	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	島 根 県	ND
	2・3 号機放水口沖	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	"	ND
	手 結 沖	4 月 3 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	340	"	ND

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14~22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。

海産生物(1)

単位:【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種					天然核種		測定者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K			
かさこ	肉	発電所付近沿	6月26日	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	93	島根県	0.06~0.15	
なまこ	肉	1号機放水口湾付近	月日								"	ND(注3)	
		宮崎鼻付近	月日								"	(ND)(注4)	
さざえ	肉	1号機放水口湾付近	4月15日	ND	ND	ND	ND	ND	0.93	84	"	ND~0.04 (注5)	
			7月9日	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	75	"		
			10月20日	ND	ND	ND	ND	ND	1.5	89	"		
			月日								"		
	肉	宮崎鼻付近	宮崎鼻付近	4月20日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	71	"	ND~0.04
				7月15日	ND	ND	ND	ND	ND	0.88	77	"	
				10月11日	ND	ND	ND	ND	0.04	0.58	78	"	
				月日								"	
	内臓	1号機放水口湾付近	1号機放水口湾付近	4月15日	ND	ND	ND	ND	ND	3.7	68	"	ND (注5)
				7月9日	ND	ND	ND	ND	ND	6.3	75	"	
				10月20日	ND	ND	ND	ND	ND	3.9	42	"	
				月日								"	
内臓		宮崎鼻付近	宮崎鼻付近	4月20日	ND	ND	ND	ND	ND	2.8	52	"	ND~0.04
				7月15日	ND	ND	ND	ND	ND	4.5	61	"	
				10月11日	ND	ND	ND	ND	ND	2.6	48	"	
				月日								"	
むらさきいがい	むき身	1号機放水口湾付近	7月25日	ND	ND	ND	ND	0.03	1.3	46	"	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	1.4	48	中国電力		
		宮崎鼻付近	宮崎鼻付近	7月14日	ND	ND	ND	ND	ND	2.4	52	島根県	ND
					ND	ND	ND	ND	ND	2.8	53	中国電力	
		浜田市	浜田市	7月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	51	島根県	ND
		松江美保関町	松江美保関町	松江美保関町	7月16日	ND	ND	ND	ND	ND	3.1	49	島根県
	ND				ND	ND	ND	ND	2.9	49	中国電力		

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

- ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14~22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
- 1号機放水口湾付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成14~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18~21年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成14~21年度の混合試料を1号機放水口湾付近の値とみなし決定した。
- 宮崎鼻付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成18年度から1号機放水口湾付近採取試料との混合試料として測定を開始したため、平成18~21年度の混合試料及び平成22年度、平成25年度の測定結果から参考値として記載した。
- 1号機放水口湾付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成14~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成14~18年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなして決定した。

海産生物(2)

単位：【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種						天然核種		測定者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
あらめ	仮根を除く	1号機放水口付近	6月24日	ND	ND	ND	ND	/	0.08	1.0	220	島根県	ND~0.09
			10月20日	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	1.2	250	"	
		宮崎鼻付	6月18日	ND	ND	ND	ND	/	0.09	0.80	280	"	ND~0.12
			12月10日	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	1.2	320	中国電力	
		宮崎鼻付海底部	6月12日	ND	ND	ND	ND	/	0.07	0.95	340	島根県	ND~0.09
				ND	ND	ND	ND	/	0.07	0.57	380	中国電力	
わかめ	仮根を除く	1号機放水口付近	4月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.73	240	島根県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.77	290	中国電力	
岩のり	全体	1号機放水口付近	月日					/				島根県	ND
ほんだわら類	仮根を除く	1号機放水口付近	6月24日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.6	310	"	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	300	中国電力	
		宮崎鼻付	6月18日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.6	340	島根県	ND~0.07
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	310	中国電力	
		輪谷湾	6月25日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	320	島根県	ND~0.08
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.3	390	中国電力	
		浜田市	7月2日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.0	300	島根県	(ND) (注3)
		松江市美保関町	7月17日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.7	320	"	(ND) (注3)
				ND	ND	ND	ND	/	ND	6.3	350	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成14~22年度及び平成25年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
3. 浜田市および松江市美保関町のほんだわら類の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成19年度から測定を開始したため、平成19~22年度及び平成25年度の値を参考値として記載した。

2)トリチウム

単位：【 Bq/l 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	測定値	測定者	平常の変動幅			
海水	表層水	1号機放水口沖	4月3日	ND	島根県	ND~0.41			
				ND	中国電力				
			10月10日	ND	島根県				
				ND	中国電力				
		2・3号機放水口沖	4月3日	ND	島根県		ND~0.78		
				ND	中国電力				
			10月10日	ND	島根県				
				ND	中国電力				
		手結沖	4月3日	ND	島根県	ND			
			10月9日	ND	中国電力				
		陸水	池水	一矢	5月20日	0.51		島根県	ND~0.61
						0.35		中国電力	
水道原水	着水井		古志浄水場	5月20日	0.35	島根県	ND~0.65		
					ND	中国電力			
				11月7日	ND	島根県			
					ND	中国電力			

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

2. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。

3) ストロンチウム 90

試料名	部位	採取地点	採取月日	測定値	単位	平常の変動幅	
松葉	2年葉	御津	4月17日	7.7	Bq/kg(生)	2.5~12	
ほうれん草	葉	御津	12月9日	(注6)		0.07~0.16	
茶	葉	北講武	5月14日	0.20		0.19~1.5	
海水	表層水	1号機放水口沖	4月3日	2.6	mBq/l	ND~2.4	
海産生物	さざえ	肉	1号機放水口湾付近	4月15日	ND	Bq/kg(生)	ND (注4)
			宮崎鼻付近	4月20日	ND		ND
	あらめ	仮根を除く	宮崎鼻付近	6月18日	ND		(ND) (注5)
	わかめ	"	1号機放水口湾付近	4月16日	ND		ND~0.09
陸土	表層土	佐陀宮内	5月9日	3.0	Bq/kg(風乾物)	1.9~4.7	
				0.06	kBq/m ²	0.06~0.22	

(注) 1. 測定者 島根県

2. NDは検出下限値未満を示す。

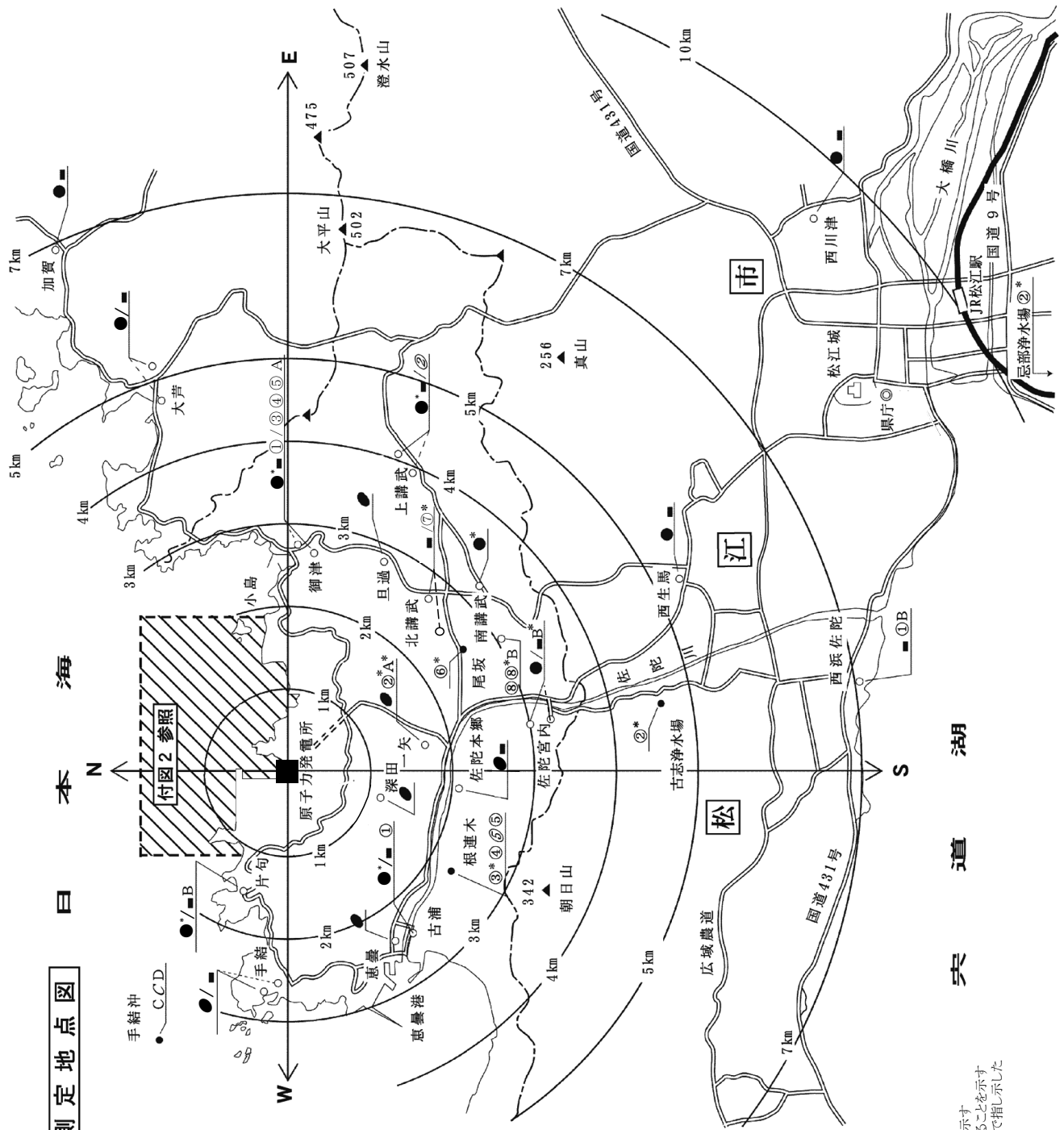
3. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。

4. 1号機放水口湾付近の「平常の変動幅」は、平成16~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成16~18年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなして決定した。

5. 宮崎鼻付近のあらめについては、平成22年度から測定を開始したため、平成22~25年度の値を参考値として記載した。

6. 分析・評価に時間を要するので、測定結果は次期に報告する。

付図1 環境放射線測定地点図

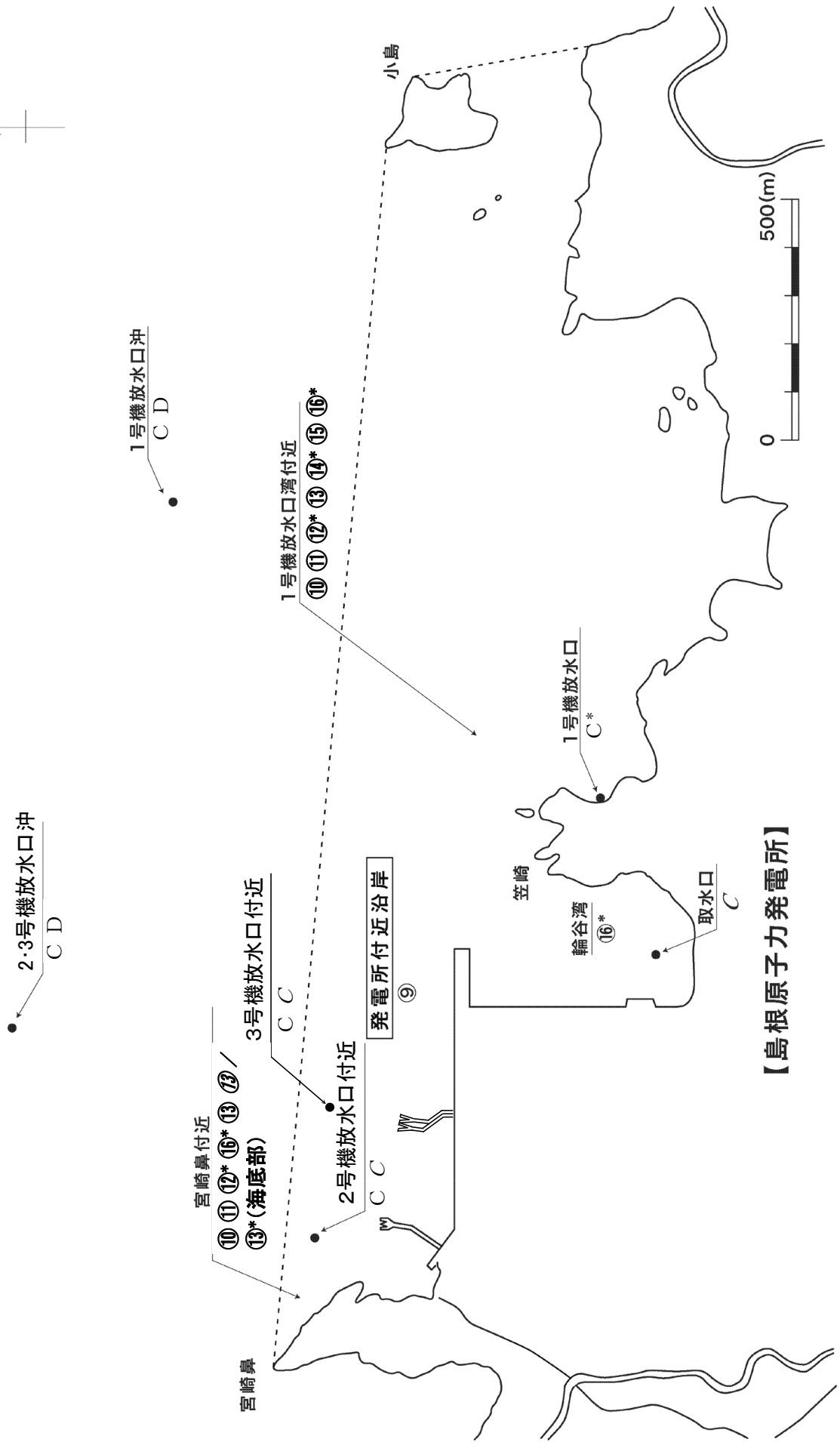
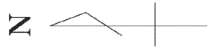


凡 例	
●	種算線量
■	人工放射線密度
①	浮遊塵
②	池水、水道原水
③	ほうれん草
④	キヤベツ
⑤	大 根
⑥	精 米
⑦	茶
⑧	原 乳
⑨	かさご
⑩	なまこ
⑪	さざえ
⑫	むらさきいがい
⑬	あらかめ
⑭	わかめ
⑮	いわのり
⑯	ほんだわら類
A	松 葉
B	陸 土
C	海 水
D	海底土
測定担当区分(例)	
●	① C …… 島 根 県
●	* ① * C * …… クロスエック
●	② C …… 中国電力

(注) 1. 試料は、γ線スペクトロメリー法のみを示す
 2. 『/』は前後の放射線測定地点が異なることを示す
 なお、上記の【前】は実線、【後】は破線で指し示した

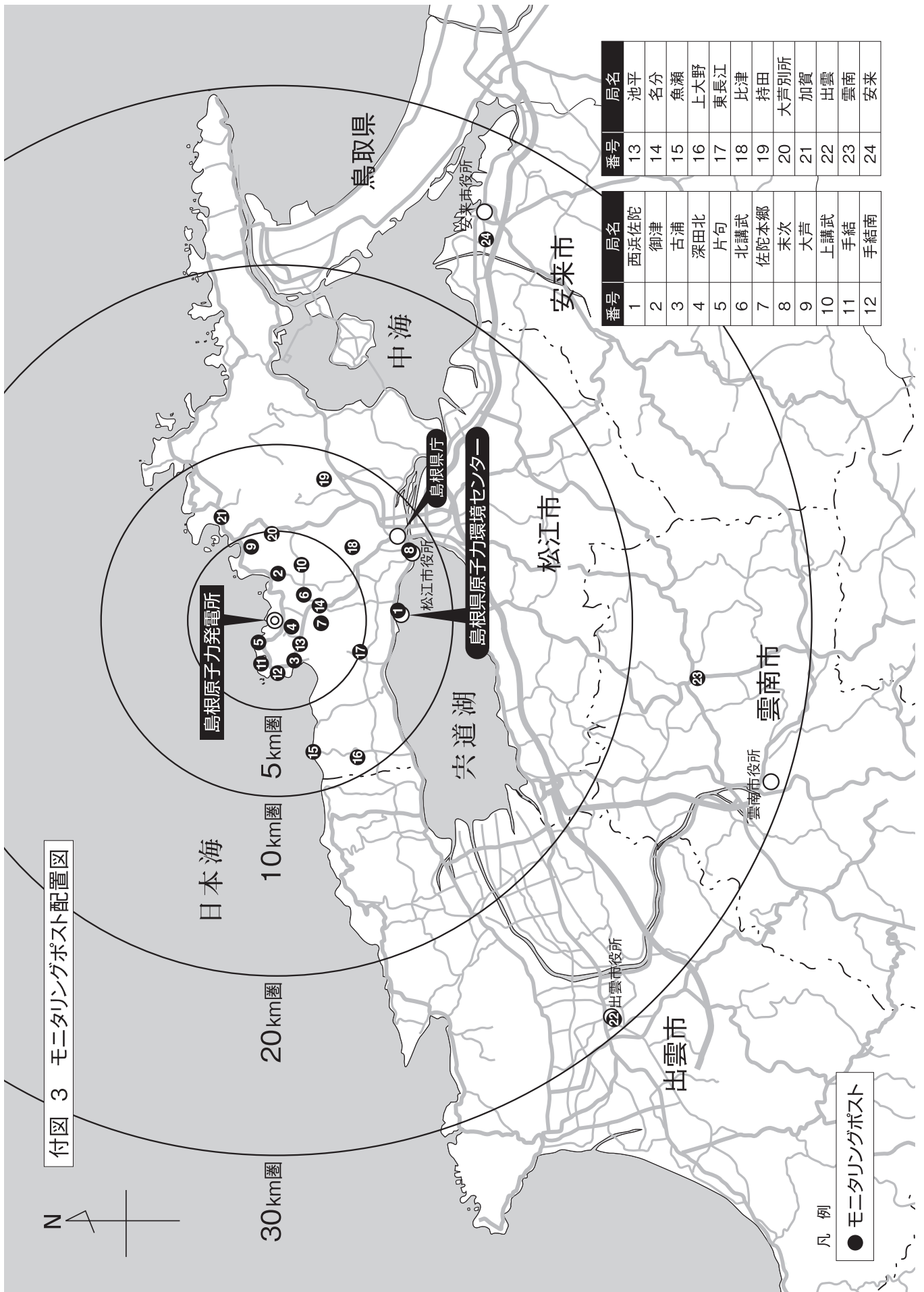
付図 2 環境放射線測定地点(海域拡大図)

(注) 1. 凡例は、付図1と共通
 2. 試料は、γ線スペクトロメトリー法のみを示す



【島根原子力発電所】

付図 3 モニタリングポスト配置図



番号	局名
1	西浜佐陀
2	御津
3	古浦
4	深田北
5	片匂
6	北講武
7	佐陀本郷
8	末次
9	大芦
10	上講武
11	手結
12	手結南
13	池平
14	名分
15	魚瀬
16	上大野
17	東長江
18	比津
19	持田
20	大芦別所
21	加賀
22	出雲
23	雲南
24	安来

凡例
● モニタリングポスト

II 温排水関係

調査内容

平成26年10月～12月の調査内容は次のとおりである。

1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社

2. 調査項目及び測定法

測定項目	測定点		測定水深	測定方法	測定回数	資料整理	実施者
水温	沖合定線 34点		0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図	島根県
	沿岸 定点	放水口沖 (1号)	0～海底 (水深約20m) 1m間隔	可搬式水温計による測温	毎月 3回	測定日の10時データの表	中国電力
		7点	1号機放水口 2号機放水口 3号機放水口 輪谷湾 片 匂 御 津	1m 1m 4m 1m・3m 1m・3m 1m・3m	常設水温計による自動記録	連続	
		格子状定線 89点		0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図
水色	沖合定線の測定点 7・9・10・17・18			フォーレルの水色計による観測	年 4回	フォーレルの水色標準液番号の表	島根県

温排水測定地点は別図のとおり。

3. 今期の島根原子力発電所の運転状況

○ 1号機 (定格出力：46万kW、放水方式：表層放水)

・ 放水量 10月1日～10月8日 $1 \text{ m}^3 / \text{s}$
10月9日～12月31日 $22 \text{ m}^3 / \text{s}$

・ 発電状況 10月1日～12月31日 第29回施設定期検査のため発電停止

○ 2号機 (定格出力：82万kW、放水方式：水中放水)

・ 放水量 10月1日～12月31日 $2.4 \text{ m}^3 / \text{s}$

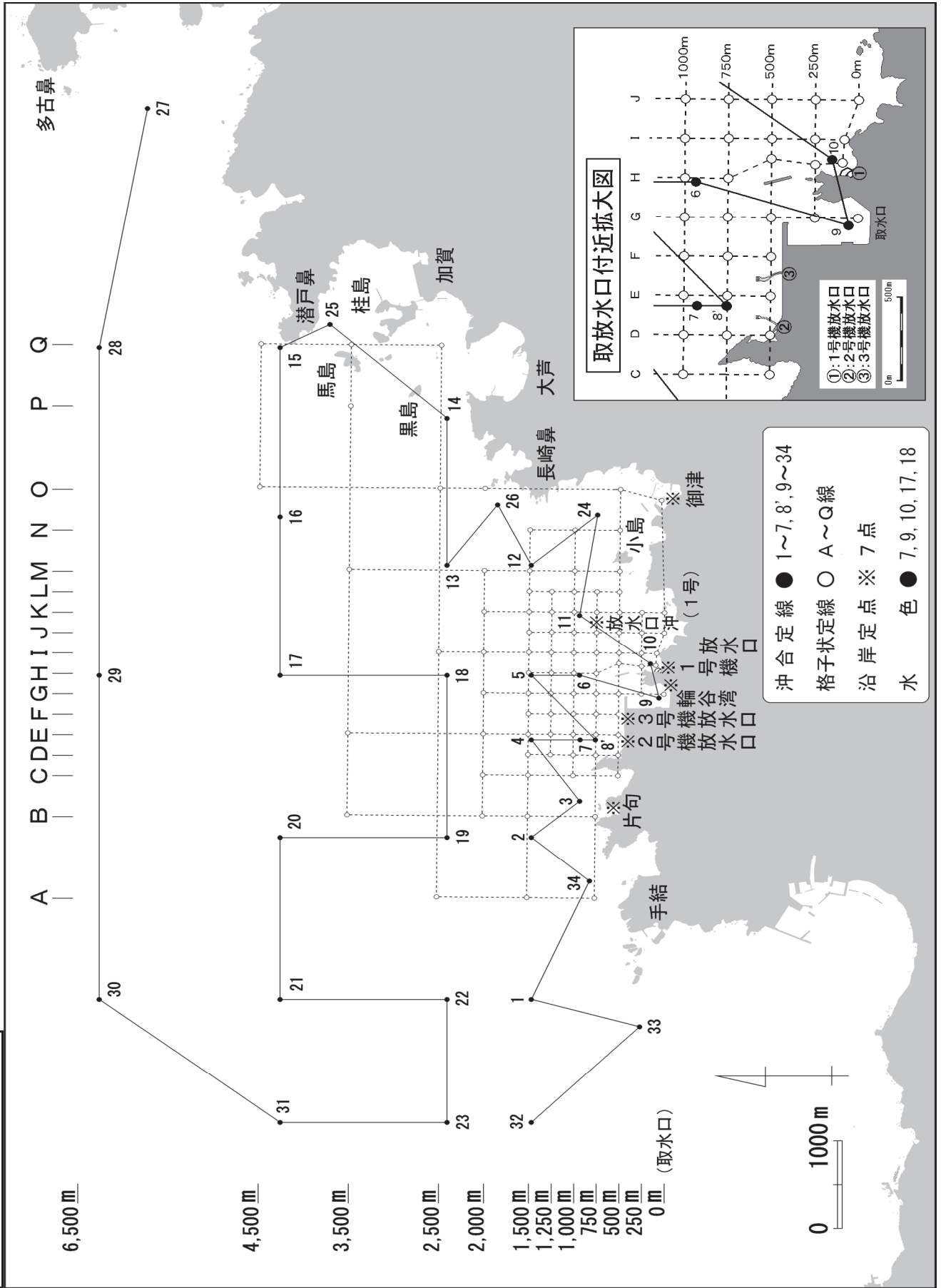
・ 発電状況 10月1日～12月31日 第17回施設定期検査のため発電停止

○ 3号機 (建設中) (定格出力：137.3万kW、放水方式：水中放水)

・ 放水量 10月1日～12月31日 $3 \text{ m}^3 / \text{s}$

(燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし)

温排水測定定点図



4. 調査結果の概要

今期の調査結果について、各々の測定項目ごとに温排水の影響に関する詳細な検討を行った。その結果、温排水に起因する特異な状況は認められなかった。なお1号機は第29回、2号機は第17回の施設定期検査中のため停止しており、また3号機は建設中であるため、全号機で原子炉の稼働に伴う温排水の放水は無かった。

(1) 沖合定線 [測定年月日 ; 平成 26年10月10日]

○測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機	2号機	3号機(建設中)
発電出力 (万 kW)	0	0	0
放水量 (m ³ /s)	22	2.4	3
放水口水温 (°C)	21.3	22.0	21.3
温度上昇 (°C)	0.5	0.8	0.1

(2, 3号機の放水量は補機冷却系の運転によるもの)

○測定日の気象・海象 (8時26分 ~ 13時33分)

天 候	晴れ ~ 薄曇り
気温 (°C)	20.8 ~ 23.7
風 向	東 ~ 北東
風速 (m/s)	0.0 ~ 10.8
風 浪	鏡のようになめらか ~ かなり波がある
うねり	うねりがない ~ 中位のやや高いうねり (波高2m~4m)

a. 水温測定結果 8時26分 ~ 13時33分

最高水温は 22.1°C (定点16 の 0m 他15点)

最低水温は 19.0°C (定点32 の 70m)

基準水温は	水深層	基準水温	水深層	基準水温	水深層	基準水温
	0 m	22.0°C	10 m	21.2°C	20 m	21.0°C
	1 m	22.0°C	11 m	21.2°C	25 m	21.0°C
	2 m	21.9°C	12 m	21.2°C	30 m	20.9°C
	3 m	21.9°C	13 m	21.2°C	40 m	20.7°C
	4 m	21.8°C	14 m	21.2°C	50 m	20.5°C
	5 m	21.6°C	15 m	21.1°C	60 m	20.3°C
	6 m	21.6°C	16 m	21.1°C	70 m	20.0°C
	7 m	21.5°C	17 m	21.0°C		
	8 m	21.4°C	18 m	21.0°C		
	9 m	21.3°C	19 m	21.0°C		

(基準水温とは定点15、16、17、20、21の水深別の平均値)

観測された水温 (19.0~22.1°C) は、過去9ヶ年(平成17年度~平成25年度)の第3-四半期(以下「過去の」という)の測定範囲 (15.5~29.0°C) 内にあった。

また最高水温 (22.1°C) は過去の最高水温観測範囲 (16.5~29.0°C) 内にあり、最低水温 (19.0°C) も過去の最低水温観測範囲 (15.5~21.4°C) 内にあった。

[資料1-1「島根原子力発電所 沖合定線の水温」P.38 参照]

b. 出現水温の観測状況（水温水平分布、水温鉛直分布）

【水温水平分布】

- ・ 水温が基準水温より 1℃以上高かった定点
観測されなかった。
- ・ 水温が基準水温より0.5℃以上 1℃未満高かった定点
定点 28 : 7, 8m層

〔資料 1 - 2 「島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図」 P. 39 参照〕

【水温鉛直分布】

- ・ 水温が基準水温より 1℃以上高かった水深層の水温範囲
観測されなかった。
- ・ 水温が基準水温より0.5℃以上高かった水深層の水温範囲
7m 層 : 21.0~22.0℃ 基準水温 21.5℃ 8m 層 : 20.9~21.9℃ 基準水温 21.4℃
- ・ 水温が基準水温より 1℃以上高かった定点
観測されなかった。
- ・ 水温が基準水温より0.5℃以上 1℃未満高かった定点
7m 層 : 定点28 8m 層 : 定点28

〔資料 1 - 3 「島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図」 P. 40 参照〕

水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった水深層が測定された定点は、過去の出現範囲（定点1~11）外の1定点であった。

水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった水深層は、過去の出現範囲（0~4, 40, 50m層）外の7, 8m層であった。

〔資料 1 - 4 「基準水温より水温が高かった定点の過去の出現範囲」 P. 41 参照〕

なおこの基準水温より0.5℃以上高い観測値は、観測範囲の外側から差し込んできた水塊に由来するもので、発電所近傍の水温上昇は見られないことから温排水に関連付けられる上昇ではないと考えられる。

【欠測の定点】

定点9（取水口）は原子力発電所の工事のため、定点上に作業船がおり欠測した。

(2) 格子状定線 [測定年月日；平成26年10月2日]

○測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機	2号機	3号機(建設中)
発電出力(万kW)	0	0	0
放水量(m ³ /s)	1	2.4	3
放水口水温(°C)	24.0	24.2	24.4
温度上昇(°C)	0.5	0.3	0.5

(放水量は補機冷却系の運転によるもの)

○測定日の気象・海象

	第1回(10時05分)	第2回(13時05分)
天候	雨	曇
気温(°C)	20.0	20.8
風向	南東	—
風速(m/s)	2.7	0.0
風浪	なめらか、小波がある	さざ波がある

a. 水温測定結果

第1回 9時30分～11時2分

最高水温は 23.7°C (定線D・距離750m・0m層, 他498点)

最低水温は 20.7°C (定線A・距離2500m・60m層, 他1点)

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第1回) P.42～P.43参照]

第2回 11時45分～13時27分

最高水温は 23.7°C (定線C・距離1000m・1m層, 他262点)

最低水温は 20.5°C (定線B・距離3500m・60m層, 他1点)

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第2回) P.44～P.45参照]

b. 温排水の拡散状況(水温水平分布、水温鉛直分布)

基準水温より1°C以上高い水温上昇域は、1回目、2回目共に確認されなかった。

[資料2-2「島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図」P.46～P.47参照]

[資料2-3「島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図」P.48～P.49参照]

(3) 沿岸定点〔測定年月日；平成26年10月1日～12月31日〕

a. 水温測定結果（10時データ）

単位：℃

	10月		11月		12月	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低
放水口沖 (1号)	23.6 (22.5～28.1)	20.6 (21.6～23.9)	20.2 (19.4～23.0)	19.8 (18.7～21.9)	17.6 (17.5～22.1)	17.6 (15.2～18.8)
1号機放水口	24.2 (23.2～32.4)	19.3 (20.0～29.8)	20.4 (20.5～29.6)	18.8 (17.8～26.7)	18.8 (17.6～29.5)	15.2 (14.0～26.3)
2号機放水口	24.3 (25.0～31.5)	20.5 (19.9～28.6)	20.9 (19.8～28.7)	19.3 (18.0～26.4)	19.5 (18.6～26.2)	15.3 (14.6～22.9)
3号機放水口	24.5 (25.7)	19.9 (22.0)	21.0 (22.5)	19.4 (19.7)	19.4 (19.4)	15.5 (16.5)
輪谷湾	23.7 (22.2～26.1)	19.5 (20.1～22.2)	20.4 (19.8～22.0)	18.7 (17.5～19.7)	18.7 (17.3～19.7)	14.7 (13.9～16.6)
片 旬	23.6 (21.9～24.8)	19.1 (19.7～21.5)	20.1 (19.6～21.8)	18.5 (17.4～19.1)	18.6 (17.1～19.3)	14.5 (13.5～16.0)
御 津	23.5 (22.0～25.0)	19.1 (19.6～21.5)	20.1 (19.2～21.9)	18.0 (16.1～18.6)	17.9 (16.9～18.7)	13.0 (12.3～15.4)

- 注) 1. 放水口沖（1号）の水温は、月3回（上旬、中旬、下旬）の測定値
 2. 3号機放水口を除く表中（ ）内は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲（最低～最高）
 3. 表中 部分は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲（最低～最高）から外れたもの
 4. 3号機放水口の表中（ ）内は、前年度の同月水温

〔資料3-1「島根原子力発電所 沿岸定点の水温」P.50～P.52参照〕

〔資料3-2「島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移」P.53参照〕

過去10ヶ年の同月水温の観測範囲内（最低～最高）と比較して、10月に2号機放水口の最高と2号機放水口を除く観測定点の最低が外れていたほか、11月に1号機放水口の最高が外れていた。これ以外の観測定点の水温は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲内（最低～最高）に収まるものであった。

沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果は資料3-3「島根原子力発電所沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果」（P.54参照）のとおり。

b. 取水－放水温度差（温度上昇）

単位：℃

	10月	11月	12月
1号機	0.0～0.9	0.0～0.1	0.0～0.5
2号機	0.2～1.5	0.4～0.9	0.0～1.5
3号機(建設中)	0.1～1.1	0.5～0.8	0.5～0.9

注) 1号機放水量は 10月1日～10月8日 $1 \text{ m}^3 / \text{s}$
 10月9日～12月31日 $22 \text{ m}^3 / \text{s}$

2号機放水量は 10月1日～12月31日 $2.4 \text{ m}^3 / \text{s}$

3号機放水量は 10月1日～12月31日 $3 \text{ m}^3 / \text{s}$

(燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし)

(4) 水色〔測定年月日；平成 26年10月10日〕

定点	7	9 (取水口前)	10 (1号機放水口前)	17	18
時刻	12時36分	欠測	12時25分	10時22分	11時06分
水色	4	欠測	4	4	4

過去9ヶ年の第3四半期の観測範囲（水色2～5）内であった。

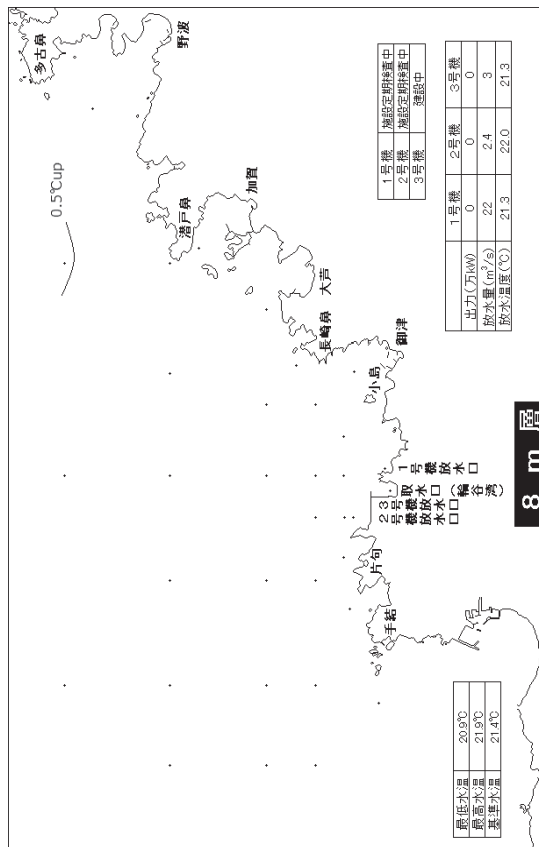
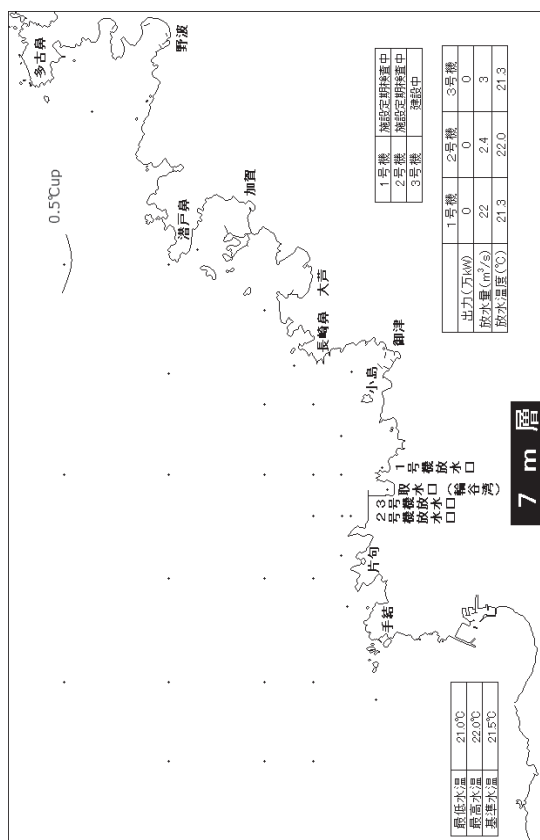
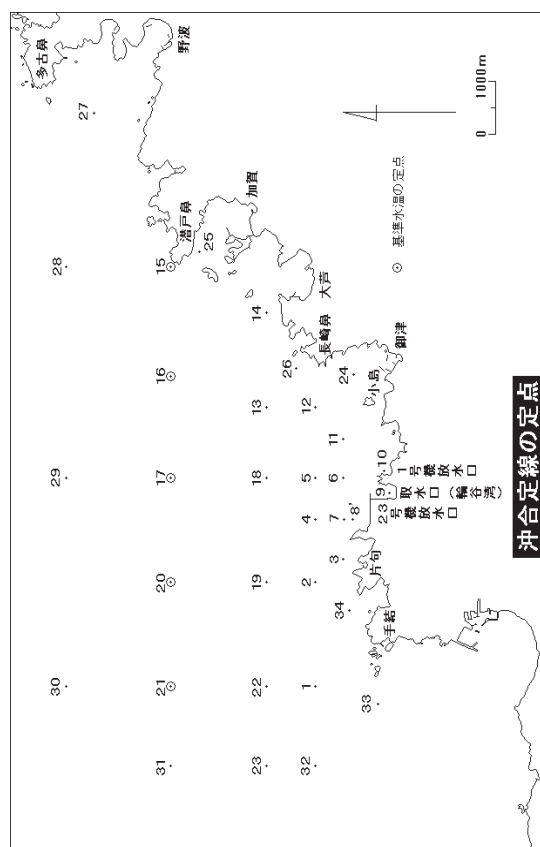
また、内湾等を除く日本近海の水色分布の範囲（水色2～6）内であった。（出典 海洋の事典 東京堂出版）

(欠測の定点)

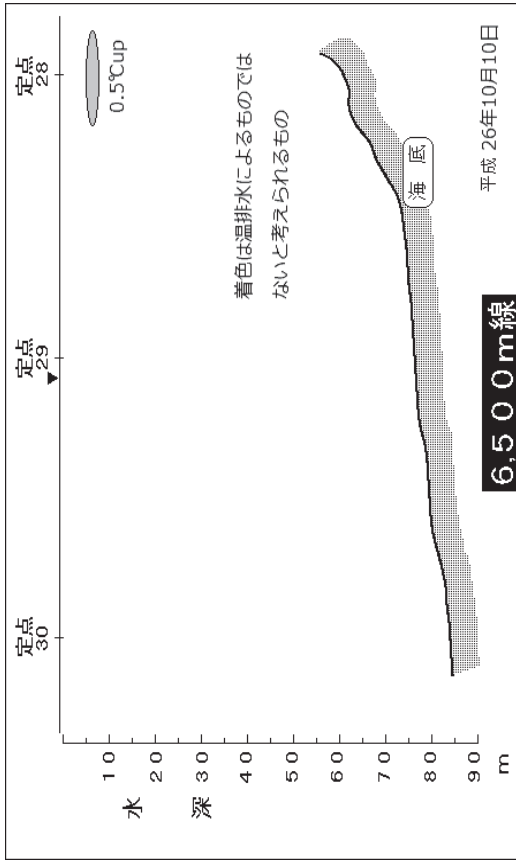
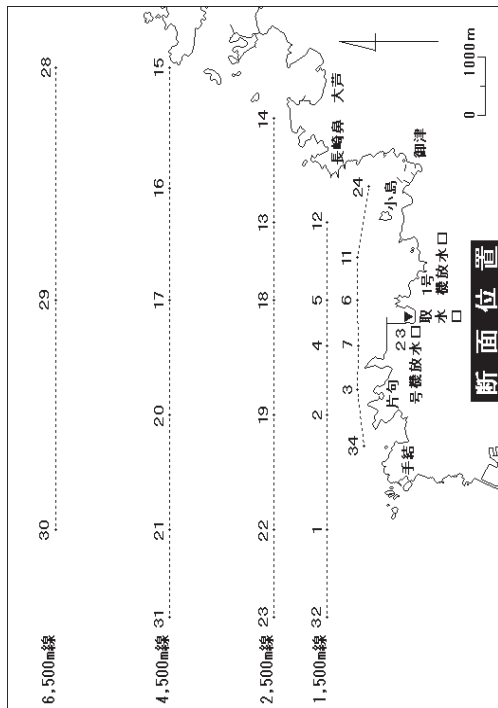
定点9（取水口）は原子力発電所の工事のため、定点上に作業船がおり欠測した。

水色について：測定に使用しているフォーレルの水色計では水色は1から11まであり、

1は澄んだ海を表す青色で数字が大きくなるほど濁った海水を表す黄色がかった色になります。



島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図 (基準水温との温度差) 平成26年10月10日



島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図 (基準水温との温度差) 平成26年10月10日

島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図 (基準水温との温度差)

平成26年10月2日 第1回
9時30分～11時02分

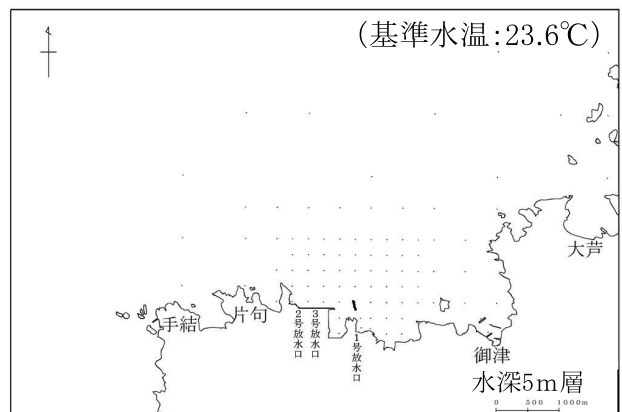
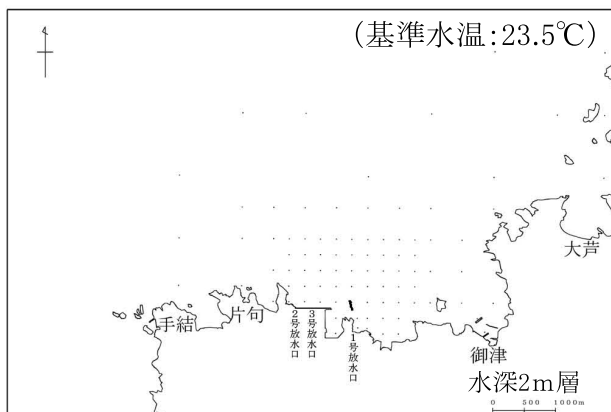
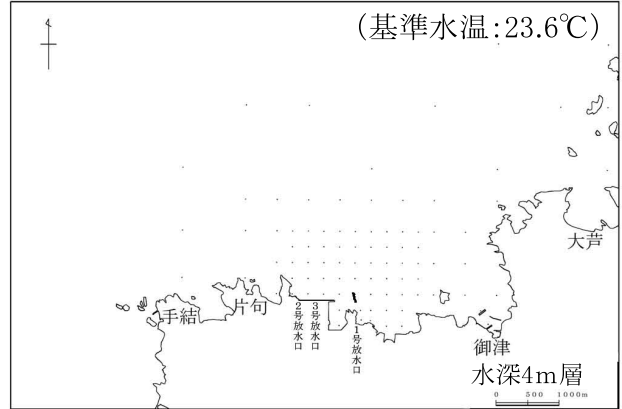
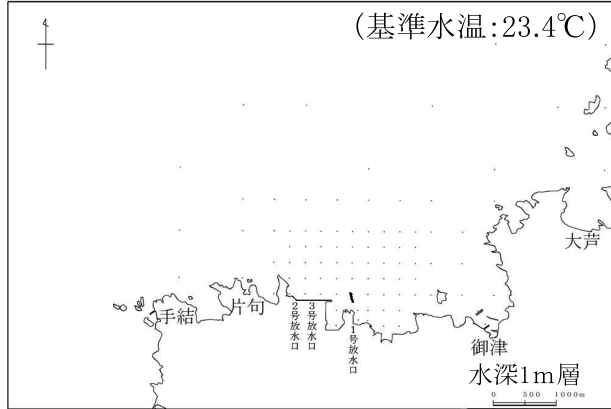
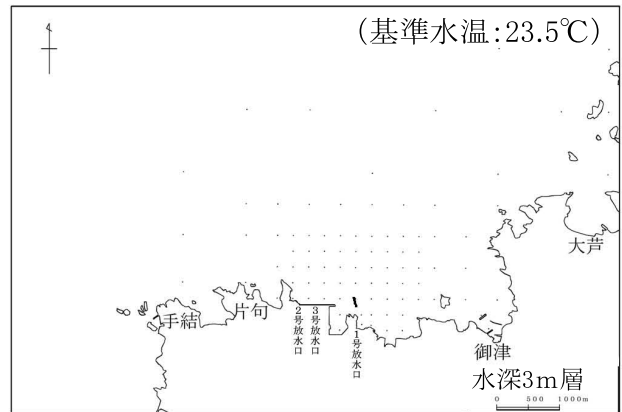
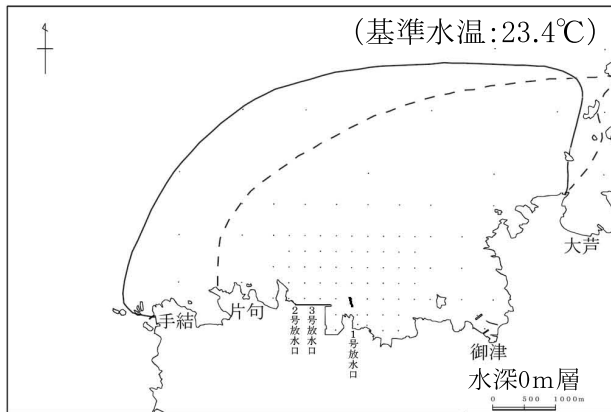
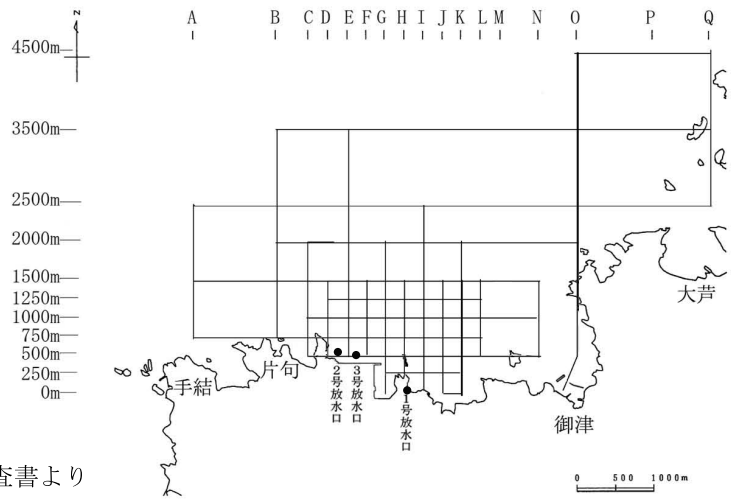
出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	2.4
	3号機	3
天候		雨
気温	(°C)	20.0
風向		南東
風速	(m/s)	2.7
風浪		2

※基準水温
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、
P3500の6点の平均値

※1°C上昇域予測包絡線の凡例

————— 島根原発2号機修正環境影響調査書より

- - - - - 島根原発3号機環境影響評価書より



◎基準水温より1°C以上高い水温上昇域は
確認されなかった。

- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図 (基準水温との温度差)

平成26年10月2日 第2回
11時45分～13時27分

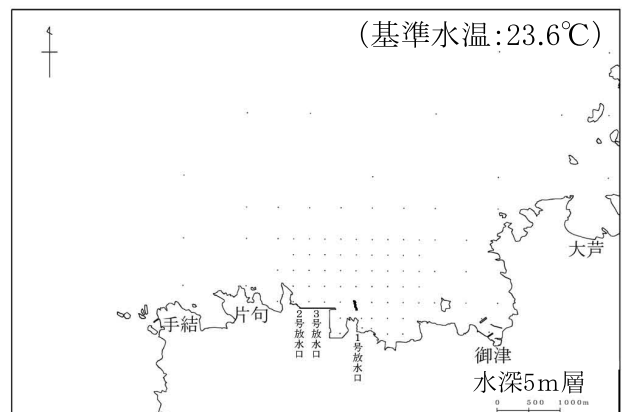
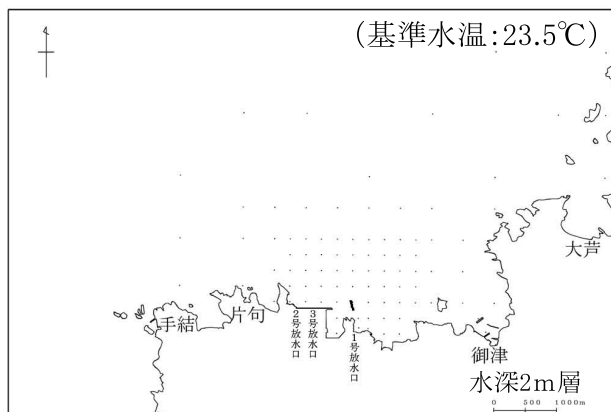
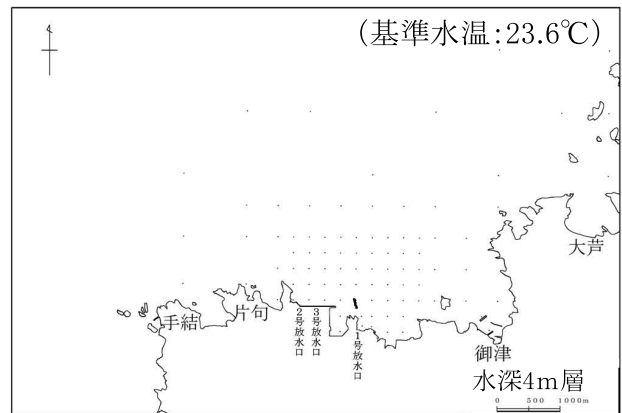
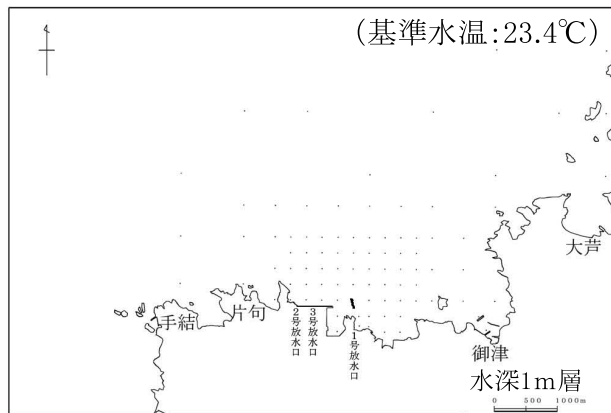
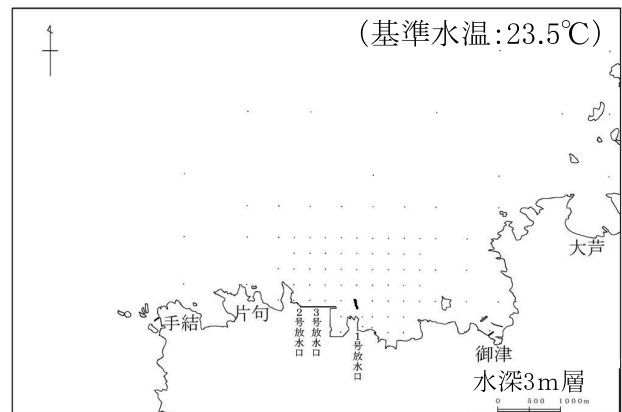
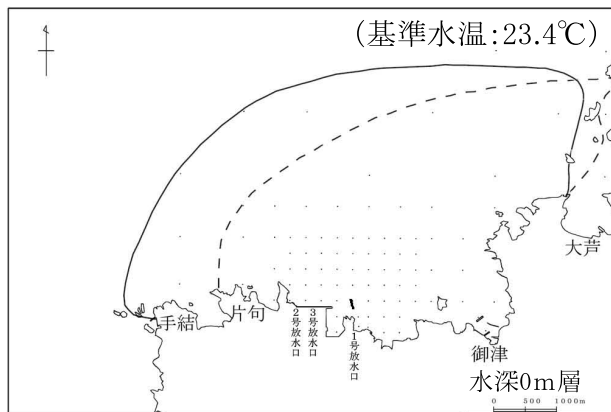
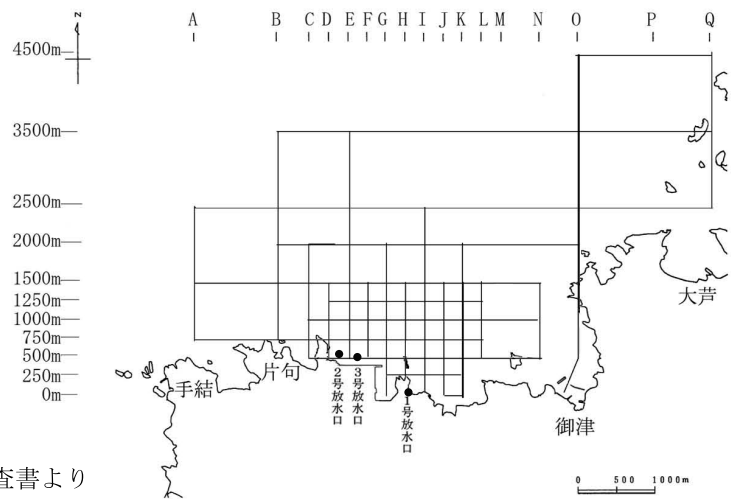
出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	2.4
	3号機	3
天候	曇	
気温	(°C)	20.8
風向	—	
風速	(m/s)	0.0
風浪	1	

※基準水温
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、
P3500の6点の平均値

※1°C上昇域予測包絡範囲の凡例

————— 島根原発2号機修正環境影響調査書より

- - - - - 島根原発3号機環境影響評価書より



◎基準水温より1°C以上高い水温上昇域は
確認されなかった。

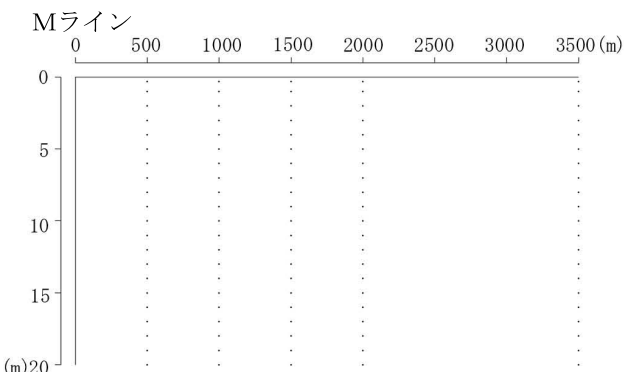
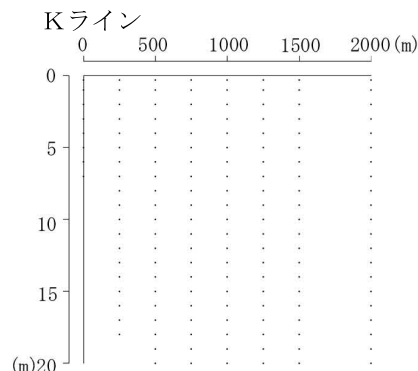
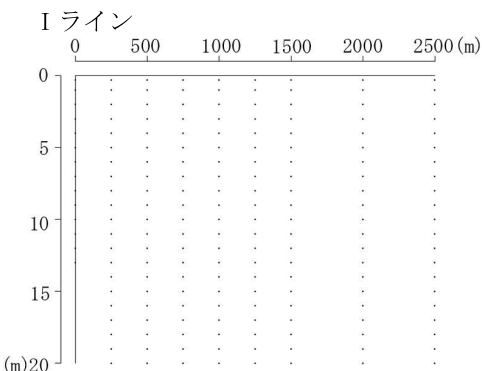
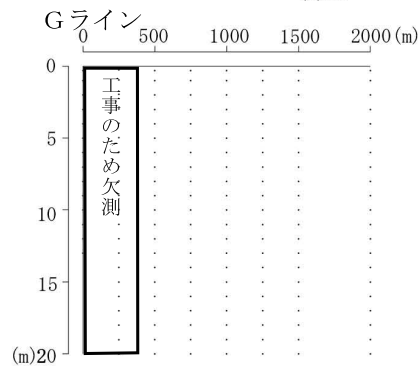
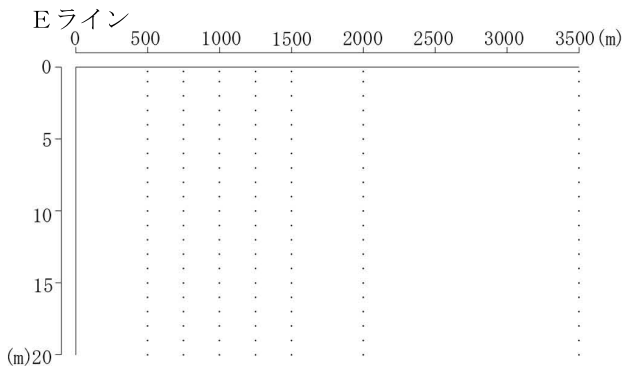
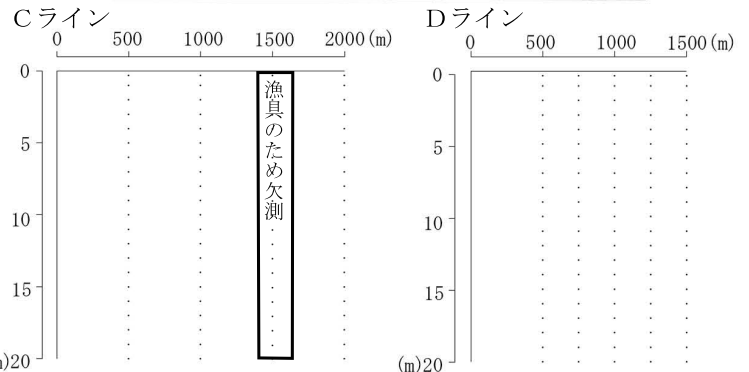
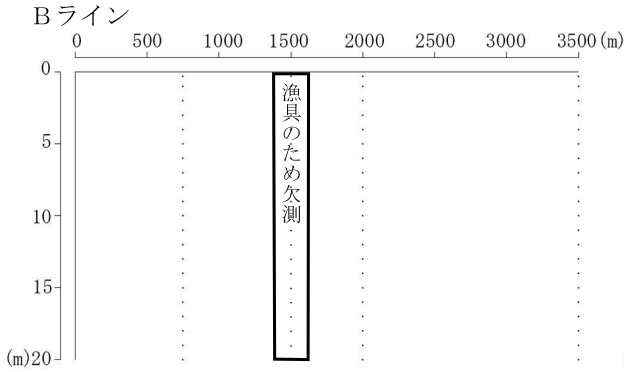
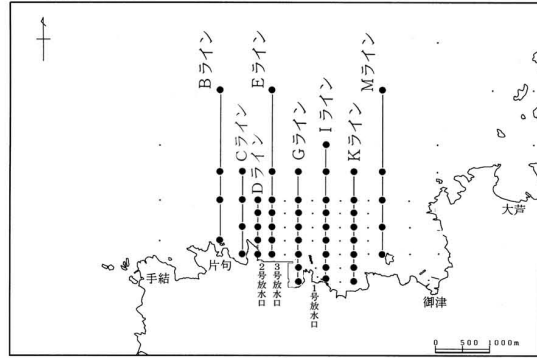
- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水溫鉛直分布図 (基準水溫との温度差)

平成26年10月2日 第1回
9時30分～11時02分

出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	2.4
	3号機	3
天候		雨
気温	(°C)	20.0
風向		南東
風速	(m/s)	2.7
風浪		2

断面位置見取図



- 基準水溫より1°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より2°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より3°C以上高い水溫上昇域

水深	基準水溫(°C)
0m層	23.4
1m層	23.4
2m層	23.5
3m層	23.5
4m層	23.6
5m層	23.6

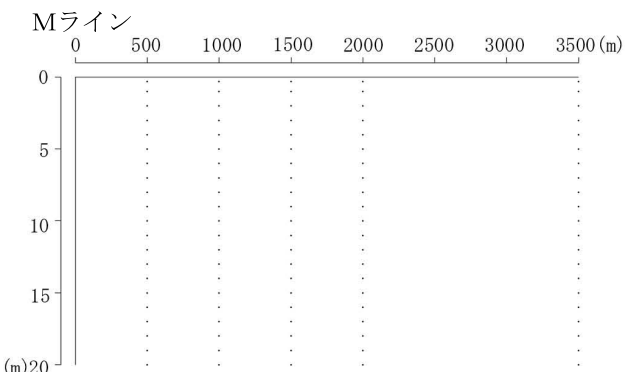
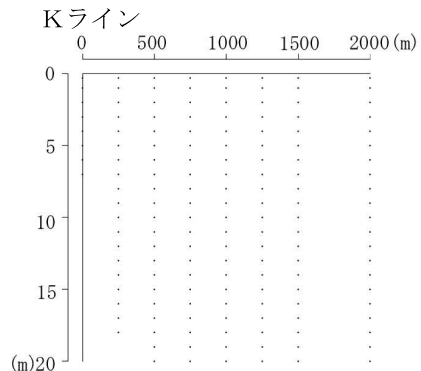
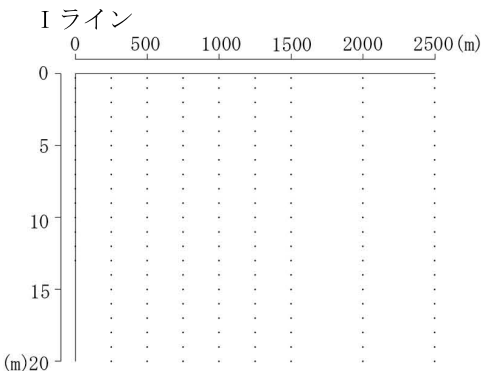
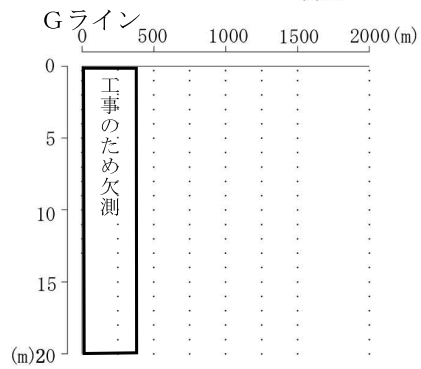
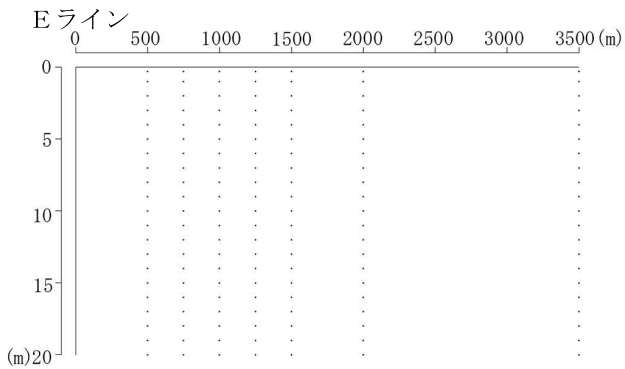
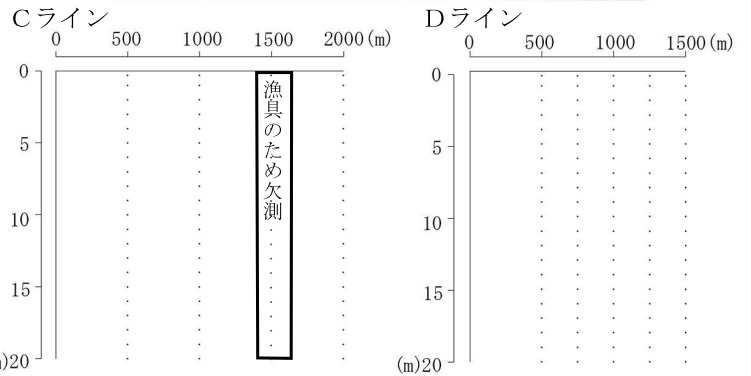
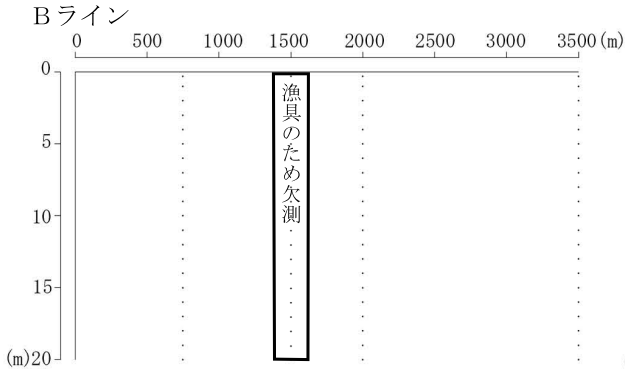
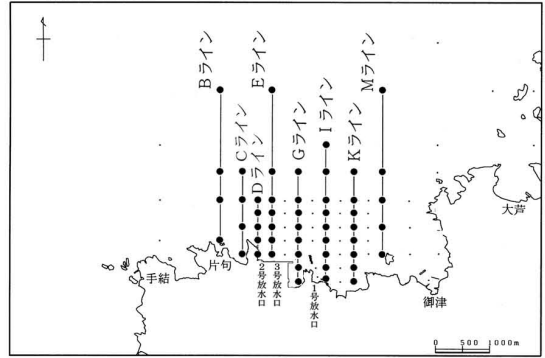
※基準水溫
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値

島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図（基準水温との温度差）

平成26年10月2日 第2回
11時45分～13時27分

出力 (万kW)	1号機	0
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	2.4
	3号機	3
天候		曇
気温	(°C)	20.8
風向		—
風速	(m/s)	0.0
風浪		1

断面位置見取図



- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

※基準水温
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値

水深	基準水温(°C)
0m層	23.4
1m層	23.4
2m層	23.5
3m層	23.5
4m層	23.6
5m層	23.6

島根原子力発電所 沿岸定点の水温（平成26年10月）

観測時刻 10 時

(単位：℃)

場所	日 水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	水深別 平均	月間 最高最低		
		1号機放水口	1m	24.2	24.0	24.1	23.7	22.6	21.7	21.2	21.2	20.7	21.3	21.0	20.2	20.4	19.3	20.3	20.2	20.7	20.6	19.8	19.8	20.5	20.4	19.9	19.9	20.2	20.1	20.3	19.9	20.0		20.1	20.1	20.9
2号機放水口	1m	24.3	24.2	24.1	24.1	23.6	22.3	21.5	21.8	21.4	22.0	21.8	21.3	21.5	20.7	20.5	21.1	21.2	21.4	21.2	20.5	21.2	21.0	20.8	20.7	20.9	21.0	21.0	21.0	20.7	20.8	20.7	20.9	21.6	24.3	20.5
3号機放水口	4m	24.5	24.4	24.4	24.0	23.3	22.3	21.3	21.2	21.4	21.3	21.7	20.9	21.4	19.9	20.7	20.9	21.2	21.3	20.4	20.5	21.2	21.1	20.5	20.5	20.7	20.9	20.9	20.6	20.6	20.7	20.7	21.5	24.5	19.9	
輪谷湾	1m	23.7	23.6	23.6	23.3	22.7	21.6	20.8	20.8	20.9	21.5	21.2	20.6	20.8	19.5	20.3	20.3	20.7	20.6	20.3	20.0	20.6	20.2	19.8	19.9	20.2	20.4	20.3	19.9	20.0	20.1	20.1	20.9	23.7	19.5	
	3m	23.7	23.6	23.6	23.2	22.6	21.6	20.7	20.8	20.8	21.4	21.2	20.6	20.7	19.5	20.2	20.3	20.6	20.5	20.3	19.9	20.5	20.2	19.7	19.9	20.2	20.3	20.3	20.3	19.9	20.0	20.1	20.9	23.7	19.5	
片匂	1m	23.6	23.5	23.5	23.2	22.2	20.7	20.5	20.7	20.6	21.3	20.9	20.3	20.4	19.1	20.6	20.1	20.4	20.3	20.1	20.0	20.4	20.1	19.6	19.8	19.9	20.1	20.0	19.9	20.0	20.0	20.1	20.7	23.6	19.1	
	3m	23.6	23.5	23.5	23.1	22.2	20.7	20.5	20.6	20.7	21.2	20.9	20.2	20.4	19.1	20.6	20.1	20.4	20.3	20.1	20.0	20.3	20.1	19.6	19.7	19.9	20.1	20.0	19.9	20.0	20.0	20.1	20.7	23.6	19.1	
御津	1m	23.5	23.5	23.3	22.9	22.4	21.7	20.3	20.5	20.7	21.3	21.2	20.8	20.3	19.4	19.1	19.5	20.1	20.1	20.1	20.2	19.9	19.8	19.8	20.0	20.1	20.0	20.1	20.2	19.2	19.3	19.8	19.9	20.6	23.5	19.1
	3m	23.7	23.7	23.5	23.1	22.7	21.9	20.7	20.7	20.7	21.4	21.2	20.8	20.7	19.7	19.3	19.7	20.0	20.1	20.3	20.2	20.3	20.5	20.2	20.0	20.0	20.0	20.3	20.4	19.4	19.3	19.7	20.1	20.8	23.7	19.3

場所	日 水深	上旬 (2日)		中旬 (17日)		下旬 (21日)		水深別 平均	月間 最高最低	
		※	23.7	23.6	20.8	20.8	20.6		20.6	21.7
放水口沖 (1号)	0m	23.6	23.6	20.8	20.8	20.6	20.6	21.7	23.6	20.6
	1m	23.6	23.6	20.8	20.8	20.6	20.6	21.7	23.6	20.6
	2m	23.7	23.7	20.8	20.8	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
	3m	23.7	23.7	20.8	20.8	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
	4m	23.7	23.7	20.9	20.9	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
	5m	23.7	23.7	20.9	20.9	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
	6m	23.7	23.7	20.8	20.8	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
	7m	23.7	23.7	20.8	20.8	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
	8m	23.7	23.7	20.9	20.9	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
	9m	23.7	23.7	20.9	20.9	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6
10m	23.7	23.7	20.9	20.9	20.6	20.6	21.7	23.7	20.6	

※ 放水口沖水温は、可搬式水温計による実測値。

島根原子力発電所 沿岸定点の水温（平成26年11月）

観測時刻 10時

(単位:℃)

場所	日 水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	水深別 平均	月間	
																																	最高	最低
1号機放水口	1m	20.4	20.3	19.9	19.8	19.9	20.0	19.9	19.7	19.8	19.7	19.6	19.6	19.1	19.4	19.3	19.4	19.7	19.3	19.3	19.4	19.5	19.5	19.5	19.3	19.2	19.1	19.1	18.9	19.0	18.8	19.5	20.4	18.8
	2号機放水口	1m	20.9	20.9	20.7	20.5	20.7	20.6	20.7	20.4	20.4	20.3	20.4	19.7	19.8	20.0	20.1	20.3	20.1	20.1	20.0	20.0	20.3	20.1	20.0	19.8	19.7	19.6	19.3	19.7	19.4	20.2	20.9	19.3
	3号機放水口	4m	21.0	21.0	20.6	20.4	20.5	20.5	20.3	20.3	20.3	20.2	20.1	19.8	19.9	19.8	20.0	20.2	20.0	19.9	20.0	19.9	20.1	20.0	19.9	19.8	19.5	19.6	19.5	19.6	19.4	20.1	21.0	19.4
輪谷湾	1m	20.2	20.4	19.9	19.8	19.9	19.9	19.8	19.8	19.7	19.7	19.5	19.5	19.1	19.3	19.2	19.3	19.7	19.3	19.3	19.4	19.4	19.5	19.4	19.3	18.8	18.7	18.9	18.9	18.9	18.8	19.4	20.4	18.7
	3m	20.3	20.4	19.9	19.8	19.8	19.9	19.7	19.7	19.7	19.7	19.5	19.5	19.0	19.3	19.1	19.2	19.5	19.2	19.2	19.2	19.2	19.4	19.3	19.2	18.8	18.7	18.9	18.9	18.7	19.4	20.4	18.7	
片匂	1m	20.1	20.1	20.0	19.9	19.7	19.8	19.6	19.7	19.4	19.1	19.2	19.1	19.6	19.2	19.1	19.3	19.3	19.1	19.2	19.1	19.4	19.3	19.2	19.1	18.9	19.0	18.8	18.7	18.7	18.7	19.3	20.1	18.5
	3m	20.2	20.2	20.0	19.9	19.7	19.9	19.6	19.7	19.5	19.3	19.3	19.2	19.6	19.3	19.1	19.2	19.4	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.0	18.9	19.0	18.8	18.7	18.7	19.3	20.2	18.7
御津	1m	19.9	20.1	19.1	19.0	19.3	19.4	19.1	18.8	19.0	18.7	18.8	18.8	18.1	18.7	18.5	18.5	19.0	18.9	18.7	19.1	19.0	19.2	19.0	18.5	18.3	18.3	18.1	18.5	18.5	18.0	18.8	20.1	18.0
	3m	20.2	20.3	19.3	19.2	19.2	19.6	19.3	19.0	19.2	18.9	19.0	18.4	18.8	18.8	18.5	18.4	18.8	18.7	18.7	18.7	19.0	19.1	19.1	18.7	19.2	19.1	19.1	18.7	18.2	19.0	20.3	18.2	

場所	日 水深	上旬 (4日)	中旬 (11日)	下旬 (21日)	水深別 平均	月間	
							最高
※ 放水口沖 (1号)	11m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	12m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	13m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	14m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	15m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	16m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	17m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	18m	20.0	19.8	19.8	19.9	20.0	19.8
	19m	20.0	19.8	19.8	19.9	20.0	19.8
	20m	20.0	19.8	19.8	19.9	20.0	19.8

場所	日 水深	上旬 (4日)	中旬 (11日)	下旬 (21日)	水深別 平均	月間	
							最高
※	0m	20.2	19.8	19.8	19.9	20.2	19.8
	1m	20.2	19.8	19.8	19.9	20.2	19.8
	2m	20.2	19.8	19.8	19.9	20.2	19.8
	3m	20.2	19.8	19.8	19.9	20.2	19.8
	4m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	5m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	6m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	7m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	8m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
	9m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8
10m	20.1	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8	

※ 放水口沖水温は、可搬式水温計による実測値。

島根原子力発電所 沿岸定点の水温 (平成26年12月)

観測時刻 10時

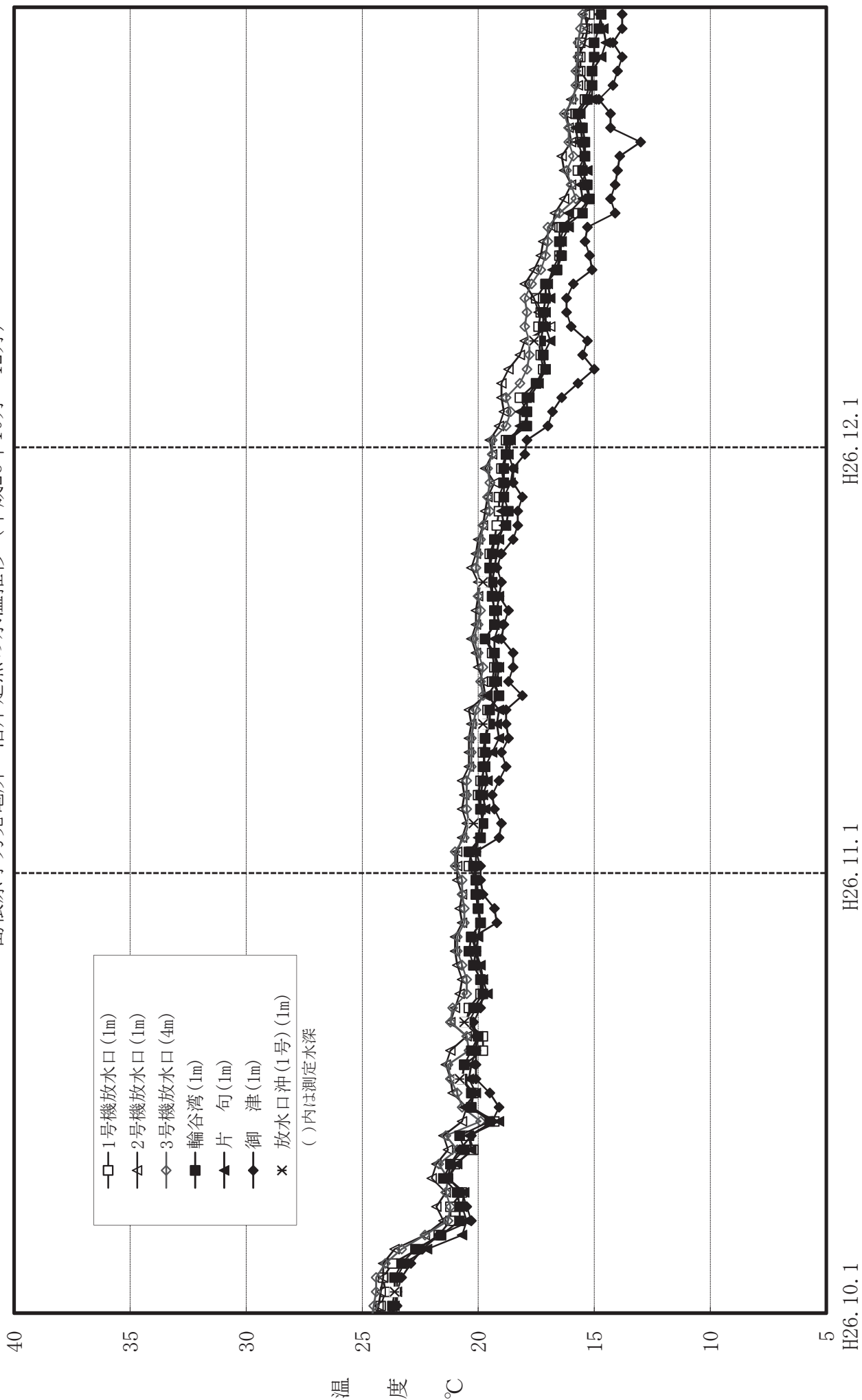
(単位: °C)

場所	日	月 間																																				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	水深別 平均	最高	最低			
1号機放水口	水深																																			16.5	18.8	15.2
	1m	18.8	18.0	17.9	18.2	17.5	17.2	17.3	17.4	17.4	17.3	17.5	17.1	16.6	16.5	16.5	16.5	15.7	15.2	15.4	15.7	15.4	15.5	15.6	15.8	15.4	15.2	15.2	15.6	15.6	15.4	15.2						
	4m	19.4	18.8	18.6	18.8	18.2	17.9	17.8	18.0	17.9	18.0	17.9	17.7	17.3	17.1	17.0	17.0	16.5	15.8	16.0	16.2	15.9	16.1	16.1	16.3	15.9	15.8	15.7	15.7	15.6	15.5	15.5	17.0	19.4	15.5			
2号機放水口	1m	19.5	19.1	18.9	19.0	19.0	18.7	18.2	18.0	16.9	17.4	17.6	18.0	17.6	17.3	17.2	17.2	16.8	16.3	16.0	16.3	16.4	16.0	16.2	16.2	16.2	16.0	15.7	15.7	15.7	15.4	15.3	15.4	17.0	19.5	15.3		
	4m	19.4	18.8	18.6	18.8	18.2	17.9	17.8	18.0	17.9	18.0	17.9	17.7	17.3	17.1	17.0	17.0	16.5	15.8	16.0	16.2	15.9	16.1	16.1	16.3	15.9	15.8	15.7	15.7	15.6	15.5	15.5	17.0	19.4	15.5			
輪谷湾	1m	18.7	17.9	17.9	17.9	17.5	17.1	17.2	17.3	17.2	17.2	17.1	17.1	16.6	16.4	16.5	16.4	16.3	15.5	15.2	15.3	15.5	15.4	15.4	15.5	15.7	15.3	15.1	15.1	15.0	14.8	14.7	16.3	18.7	14.7			
	3m	18.6	17.9	17.8	17.9	17.5	17.1	17.1	17.2	17.2	17.2	17.1	17.0	16.5	16.4	16.4	16.3	15.5	15.2	15.3	15.5	15.4	15.4	15.5	15.7	15.3	15.1	15.0	14.9	14.8	14.6	16.2	18.6	14.6				
片句	1m	18.6	18.2	18.2	17.8	17.4	17.1	17.2	16.9	17.1	17.1	16.9	17.0	16.8	16.5	16.4	16.4	16.1	16.1	15.5	15.6	15.3	15.5	15.7	15.8	15.6	15.1	15.1	14.7	14.5	14.6	14.8	16.3	18.6	14.5			
	3m	18.5	18.3	18.2	17.9	17.5	17.2	17.2	17.0	17.1	17.2	16.9	17.0	17.0	16.6	16.5	16.2	16.2	16.2	15.7	15.3	15.6	15.3	15.6	15.8	15.6	15.2	15.2	14.8	14.6	14.9	16.3	18.5	14.6				
御津	1m	17.9	17.0	16.8	16.4	15.7	15.0	15.5	15.3	16.0	16.2	16.2	15.9	15.1	15.2	15.4	15.3	14.1	14.3	14.1	13.9	13.0	14.3	14.3	14.8	14.2	14.2	14.0	13.8	14.2	13.8	13.8	15.0	17.9	13.0			
	3m	18.1	17.3	17.1	16.8	16.0	15.3	15.8	15.6	16.2	16.5	16.5	16.1	15.4	15.4	15.5	14.4	14.6	14.3	14.1	13.3	14.5	14.6	14.8	14.3	14.3	13.9	14.4	14.0	14.1	15.3	18.1	13.3					

場所	日	月 間																																						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	水深別 平均	最高	最低																										
※1 放水口沖 (1号)	水深																																			17.6	17.6	17.6		
	0m	17.6										17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6							
	1m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6						
	2m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6					
	3m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6					
	4m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6				
	5m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6				
	6m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6			
	7m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6			
	8m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6		
9m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6			
10m	17.6									17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6			

※1 放水口沖水温は、可搬式水温計による実測値。 ※2 12月中旬、下旬は荒天のため欠測。

島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移 (平成26年10月～12月)



島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果

測定年月日 平成26年 10月 10日

場 所	時刻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	水深別 平均	最高	最低
	水深																											
1号機放水口	1m	21.2	20.7	20.5	20.4	20.9	20.9	20.9	21.1	21.2	21.3	21.2	21.2	21.1	21.0	20.9	21.0	20.9	20.8	20.8	20.7	20.7	20.7	20.8	21.0	20.9	21.3	20.4
	1m	21.9	21.9	22.0	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.1	22.0	22.0	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	21.8	21.8	22.0	22.1
3号機放水口	4m	21.8	21.8	21.9	21.8	21.7	21.5	21.4	21.4	21.3	21.3	21.4	21.4	21.5	21.6	21.6	21.6	21.7	21.7	21.7	21.7	21.6	21.6	21.5	21.5	21.6	21.7	21.5
	1m	21.6	21.6	21.5	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.5	21.7	21.8	22.0	21.9	21.9	21.9	21.8	21.8	21.8	21.7	21.6	21.6	21.6	21.5	21.6	22.0	21.4
輪 谷 湾	3m	21.6	21.4	21.3	21.3	21.3	21.4	21.4	21.3	21.4	21.4	21.6	21.7	21.9	21.9	21.8	21.8	21.8	21.7	21.7	21.6	21.5	21.5	21.4	21.5	21.9	21.3	
	1m	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.2	21.2	21.3	21.3	21.3	21.4	21.6	21.6	21.6	21.6	21.6	21.5	21.5	21.4	21.3	21.3	21.2	21.1	21.3	21.6	21.1
片 匂	3m	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3	21.2	21.2	21.2	21.2	21.2	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.4	21.3	21.3	21.3	21.2	21.1	21.3	21.5	21.1
	1m	21.3	21.4	21.3	21.3	21.3	21.3	21.2	21.2	21.3	21.3	21.5	21.7	21.9	21.9	22.0	22.0	21.9	21.9	21.8	21.7	21.6	21.6	21.5	21.4	21.5	22.0	21.2
御 津	3m	21.4	21.4	21.5	21.5	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.5	21.7	21.8	21.8	21.9	21.8	21.6	21.6	21.6	21.5	21.4	21.5	21.9	21.4	
	1m	21.4	21.4	21.5	21.5	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	21.5	21.7	21.8	21.8	21.9	21.8	21.6	21.6	21.6	21.5	21.4	21.5	21.9	21.4	

III 参 考 资 料

1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果

単 位：【 nGy/h 】

	区 分	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
4月	平均値	22	27	33	24	31	29
	最大値	36	42	46	36	44	40
5月	平均値	24	27	34	24	32	29
	最大値	44	45	57	46	56	48
6月	平均値	23	27	34	24	31	29
	最大値	46	45	56	46	55	50
7月	平均値	23	27	34	24	32	29
	最大値	55	53	66	54	72	58
8月	平均値	23	27	34	25	32	30
	最大値	55	56	69	56	67	58
9月	平均値	23	27	34	24	31	29
	最大値	44	45	54	44	52	45
10月	平均値	23	28	34	25	32	30
	最大値	51	52	62	53	61	54
11月	平均値	23	28	34	25	32	30
	最大値	49	50	62	51	63	54
12月	平均値	23	29	34	25	32	30
	最大値	49	53	62	55	61	53
1月	平均値						
2月	平均値						
3月	平均値						
前年度までのデータ	月平均値の範囲	19～25	23～30	30～40	21～26	28～33	26～31
	2分値の最大値	84	86	115	105	130	100

- (注) 1. 測定者 中国電力
 2. 測定方法 3"φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV～3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 平成13年4月から2分値を測定値としている。
 このため、「前年度までのデータ」は、平成13年4月～25年3月の2分値について記載した。

2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況

(1) 液体廃棄物及び気体廃棄物

	液体廃棄物		気体廃棄物							
	トリチウムを除く (Bq)	トリチウム (Bq)	放射性希ガス (Bq)	放射性 よう素 [¹³¹ I] (Bq)	トリチウム (Bq)	全粒子状物質(四半期合計値) (Bq)				
						γ線 放出核種	⁸⁹ Sr, ⁹⁰ Sr	全α 放射能		
原 子 力 発 電 所 の 設 計	4月	ND	2.6×10 ¹⁰	ND	ND	6.7×10 ⁹	ND	ND	ND	
	5月	ND	1.6×10 ¹⁰	ND	ND	5.9×10 ⁹				
	6月	ND	4.1×10 ⁹	ND	ND	5.9×10 ⁹				
	7月	ND	2.0×10 ⁹	ND	ND	7.3×10 ⁹	ND	ND	ND	
	8月	ND	6.4×10 ⁹	ND	ND	8.6×10 ⁹				
	9月	ND	8.9×10 ⁹	ND	ND	7.5×10 ⁹				
	10月	ND	2.0×10 ⁹	ND	ND	5.9×10 ⁹	ND	ND	ND	
	11月	ND	2.3×10 ⁹	ND	ND	4.9×10 ⁹				
	12月	ND	3.8×10 ⁹	ND	ND	2.7×10 ⁹				
	1月									
	2月									
	3月									
年間合計										
年間放出 管理目標値	7.4×10 ¹⁰	(7.4×10 ¹²) (注2)	8.4×10 ¹⁴	4.3×10 ¹⁰						

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

検出下限値は、液体廃棄物(トリチウムを除く) 約2×10⁻² Bq/cm³ (⁶⁰Coで代表)
 気体廃棄物(放射性希ガス) 約2×10⁻² Bq/cm³
 気体廃棄物(放射性よう素) 約7×10⁻⁹ Bq/cm³
 気体廃棄物(γ線放出核種) 約4×10⁻⁹ Bq/cm³ (⁶⁰Coで代表)
 気体廃棄物(⁸⁹Sr, ⁹⁰Sr) 約4×10⁻¹⁰ Bq/cm³ (⁹⁰Srで代表)
 気体廃棄物(全α放射能) 約4×10⁻¹⁰ Bq/cm³

2. 年間放出管理の基準値

(2) 固体廃棄物

		固 体 廃 棄 物					
		ド ラ ム 缶			そ の 他 の 種 類		
		発 生 量 (本)	焼 却 量 ・ 減 容 処 理 量 等 (本)	累 積 保 管 量 (本)	発 生 量 (本 相 当)	焼 却 量 ・ 減 容 処 理 量 等 (本 相 当)	累 積 保 管 量 (本 相 当)
原 子 炉 施 設 合 計	4 月	114	57	24,593	0	0	2,297
	5 月	157	167	24,583	0	33	2,264
	6 月	284	174	24,693	2	0	2,266
	7 月	214	132	24,775	30	51	2,245
	8 月	297	119	24,953	0	0	2,245
	9 月	248	0	25,201	13	0	2,258
	10 月	316	182	25,335	8	66	2,200
	11 月	427	54	25,708	0	17	2,183
	12 月	311	181	25,838	0	46	2,137
	1 月						
	2 月						
	3 月						
年間合計							

(注) 1. 固体廃棄物貯蔵所の保管容量は、35,500 本である。

3. 島根原子力発電所の運転状況

1 号機（定格電気出力：46万kW）

	運 転 状 況	時間稼働率(%)	設備利用率(%)
4月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
5月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
6月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
7月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
8月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
9月	第29回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
10月	第29回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
11月	第29回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
12月	第29回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
1月			
2月			
3月			

2 号機（定格電気出力：82万kW）

	運 転 状 況	時間稼働率(%)	設備利用率(%)
4月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
5月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
6月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
7月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
8月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
9月	第17回定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
10月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
11月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
12月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
1月			
2月			
3月			

(注) 1.
$$\text{時間稼働率} = \frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$$

2.
$$\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可電気出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$$

3. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正（平成25年7月8日施行）により名称を変更した。

用語の解説

(1) 「平常の変動幅」について

「平常の変動幅」については、「環境放射線モニタリングに関する指針」(原子力安全委員会)において「測定条件等が良く管理されており、かつ原子力施設が平常運転を続けている限り、測定値の変動はある幅の中に納まるはずであり、これを「平常の変動幅」と呼ぶことにする。」と規定されている。

本技術会は測定項目別の「平常の変動幅」を指針に準拠し下表のとおり定めた。

なお、測定値が「平常の変動幅」を外れた場合はその原因を調査している。

測定項目別「平常の変動幅」

調査項目	平常の変動幅	更新等
空間放射線の積算線量	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
モニタリングポストによる空間放射線量率	前年度までの5年間(新設や移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値 \pm 3 \times 標準偏差)相当の範囲とする。	年度毎に更新
地表面における人工放射能面密度	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
環境試料中の放射能	前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とする。 ただし、ガンマ線スペクトロメトリ対象核種については福島第1原子力発電所事故の影響があったと思われる平成23、24年度の値を除く前年度までの10年を対象としている。	年度毎に更新

(2) 「検出下限値」について

環境試料中の放射能の検出下限値は計数誤差の3倍とする。

本報告書では「検出下限値未満」を「ND」と表記する。

(3) 環境放射線調査関係

【あ】

RPLD (RadioPhotoLuminescence glass Dosimeter の略、蛍光ガラス線量計)

銀活性化リン酸塩ガラスなどの物質は、放射線を照射した後に紫外線レーザを照射すると、放射線量に比例して発光する性質を有する。このような性質を利用した線量計をRPLDという。

α線、β線、γ線

α線は、原子核から飛び出した陽子2個と中性子2個が組み合わさった粒子（He（ヘリウム）の原子核）である。α線は物質を透過する力が弱く、皮膚の表面や薄い紙1枚程度で止める（遮蔽する）ことができるが、強い電離作用がある。

β線は、原子核から飛び出した高速の電子である。β線の物質を透過する力はα線の約100倍であり、皮膚の表面から数mmの深さまで到達する。薄いアルミニウム板などで止める（遮蔽する）ことができる。

γ線は電磁波であり、励起状態にある原子核が安定状態になる際に放出される。γ線の物質を透過する力はβ線より強く、身体の深部にまで到達する。鉛やコンクリートなどで止める（遮蔽する）ことができる。

in-situ 測定

「現場での測定」を意味する。本報告書においては、可搬型ゲルマニウム半導体検出器を環境中に運搬し、現場においてγ線スペクトロメトリーを行うことを指す。

液体シンチレーション分析

環境試料中の放射性核種を測定するために、測定試料を液体発光物質（液体シンチレータ）に溶かし、試料が出す放射線が発光物質に衝突して発する光を測定して、放射性核種の分析を行うことがある。これを液体シンチレーション分析という。

³H（トリチウム）は（γ線を放出せず）β線のみを放出する放射性核種であるため、γ線スペクトロメトリーではなく、液体シンチレーション分析を用いて放射能を測定している。

【か】

核種分析

ほとんどの放射性核種は固有のエネルギーを有するγ線等の放射線を放出しているため、物質から放出される放射線のエネルギーとその放出量を測定することによって、放射性核種がどれだけ含まれているかを知ることができる。このようにして、物質に含まれる放射性核種の種類及び放射能を分析することを核種分析という。

環境試料中の放射能

放射性核種の分布や変動の程度を把握するために、一般環境に存在するものを採取し、その放射能分析を行っている。現在のところ、このような環境試料としては、浮遊塵、植物（松葉）、農畜産物、海産生物、陸水、海水、陸土、海底土等がある。

測定結果は試料によって、試料の単位体積あたりの放射能（ $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 、 mBq/l ）、単位面積あたりの放射能（ kBq/m^2 ）又は単位質量あたりの放射能（ Bq/kg ）で表している（ μ （マイクロ）は100万分の1、m（ミリ）は千分の1、k（キロ）は千倍）。

γ線スペクトロメトリー（γ線分光分析）

γ線スペクトロメータを用いてγ線のエネルギースペクトルの測定を行い、得られたスペクトルを解析することによって、試料に含まれる放射性核種の種類及び放射能の分析を行うこと

を γ 線スペクトロメトリー（ γ 線分光分析）という。

国際放射線防護委員会（ICRP）

1928年に設立された国際X線・ラジウム防護委員会を継承して設立された国際的な専門家の委員会であり、1950年から放射線防護に関する国際的な基準を勧告してきた。最初の勧告（Publication 1）は1958年に出されている。

この勧告は拘束力を持つものではないが、国際機関および各国の法律制定に大きな影響を与えている。世界の放射線防護はICRPの勧告に基づいて実施されており、日本の放射線防護に係る法令もICRPの勧告を国内で審議のうえ採用している。

【さ】

積算線量（空間放射線積算線量）

ある地点で一定期間にわたって測定された空間放射線量の積算量をいう。放射線量は物質に吸収されたエネルギーで表す。物質1kgあたり1J（ジュール）のエネルギー吸収をもたらす放射線量を1Gy（グレイ）とする。RPLD（蛍光ガラス線量計）による測定の場合、同一地点で約3ヶ月間測定した値を90日間の値に換算して、mGy（ミリグレイ）/90日で表している（ミリは千分の1）。

線量限度

放射線防護の目的のために設定された放射線被ばくの限度のことを指す。放射線が人体に及ぼす確定的影響を防止し、確率的影響を容認できるレベルに制限するために設定されている。

日本では、法令によって自然放射線と医療放射線を除いて、職業人に対して100mSv/5年かつ50mSv/年、一般公衆に対して1mSv/年と定めている。

線量率（空間放射線量率）

単位時間あたりの空間放射線量をいう。本報告書では、これを1時間あたりの空間放射線量であるnGy（ナノグレイ）/hで表している（ナノは10億分の1）。

【た】

TLD（Thermo Luminescence Dosimeterの略、熱ルミネセンス線量計）

CaSO₄（硫酸カルシウム）やLiF（フッ化リチウム）などの物質は、放射線を照射した後加熱すると発光する性質を有する。この性質を利用した線量計をTLDという。

島根県では、硫酸カルシウムにトリウムを添加したもの（CaSO₄:Tm）をTLD素子として使用している。

【は】

平常の変動幅

測定条件、気象状態や自然環境などによって変動する測定値について、その変動する原因を調査した方がよいかどうかのふり分けをする大まかなレベルのことをいう。

この範囲は、過去のデータを統計処理して求めたものであり、範囲をはずれた測定値については原因調査を行い、原子力発電所の影響の有無を確認する。

なお、この範囲は、人体に影響を生じるレベルよりはるかに低い値であり、人体への影響を評価するためのものではない。

放射化学分析

環境試料中の放射性核種を測定するために、適当な化学的方法により元素の分離・精製を行い、その中に含まれる放射性核種の種類あるいは放射エネルギーを求めることを放射化学分析という。

⁹⁰Sr（ストロンチウム90）は（ γ 線を放出せず） β 線を放出する放射性核種であるため、 γ 線スペクトロメトリーではなく、放射化学分析法を用いて核種分析を行っている。

放射性核種

放射能をもつ同位元素を放射性核種といい、放射性同位元素といってもよい。例えば天然に存在する原子番号19のカリウムは質量数39のK-39、質量数40のK-40、質量数41のK-41の3種類がある。このうちK-39とK-41は放射能をもたないので安定核種とよぶが、K-40は放射能をもつので放射性核種という。

放射線

空間を伝播、移動するエネルギーの流れで、このうち電離作用をもったものをいう。代表的なものに、 α （アルファ）線、 β （ベータ）線、 γ （ガンマ）線、X（エックス）線などがある。

放射能と混同して使われることがあるが、異なるものである。

放射能

原子核が不安定であるために壊変し、 α 線や β 線、または γ 線やX線等の放射線を放出する性質またはその壊変の起きやすさをいう。

放射能（の強さ）は単位時間における壊変数で表し、Bq（ベクレル）を単位とする。1秒間に1個の原子核が壊変する物質の放射能（の強さ）は1Bqであるという。

【ま】

面密度

陸土試料などについて、単位質量あたりの放射能を単位面積あたりの放射能に換算した値。単位はkBq/m²など。

モニタリングカー

空間放射線量率計などの測定装置を備えていて、空間放射線などを移動測定することのできる車をいう。

モニタリングポスト

空間放射線量率を自動連続測定する装置を備えた野外測定設備をいう。なお、空間放射線量率計に加えて気象観測装置なども備えている設備のことをモニタリングステーションと呼んでいる。

【や】

預託実効線量

人体組織に対する放射線の影響は、放射線の種類やエネルギーにより異なるため、これを共通の尺度で評価するために使う量を等価線量という。これは物質が単位質量あたりに吸収する放射線のエネルギー（単位：Gy）に換算係数（放射線の種類やエネルギーにより異なる）を乗じたものであり、単位はSv（シーベルト）である。

体内に取り込まれた放射性核種からの被ばく（内部被ばく）の場合、体外に排泄されるまで、または崩壊によって減衰するまで被ばくが続く。このことを考慮して求めた50年間（成人の場合）にわたる等価線量の積分値を預託等価線量という。

人体に対する放射線の影響は被ばくする組織によって異なっているため、組織ごとの影響を共通の尺度で評価する必要がある。この目的に使うため、各組織ごとの預託等価線量に荷重係数（ W_T ）を乗じて合計した量を預託実効線量としている。

(参考)

確率的影響、確定的影響

放射線の被ばくにより生じる影響で、影響の程度は線量に依存しないが、影響が発生する確率と線量との間にはしきい値（それ以下の線量では影響が現れないとされる値）のない比例関係が存在することを確率的影響という。例えば、被ばくした人の子孫に現れる遺伝的影響ならびに被ばくした人に現れる身体的影響のうちの発ガンがこれに当たる。

これに対して、その発生にしきい値線量があり、しきい値以下の線量では影響が現れず、影響の程度が線量に比例すると考えられるものを確定的影響という。例えば、放射線被ばくに起因する皮膚の障害、白内障、不妊などがこれに当たる。

本書は平成26年度放射線監視等交付金事業により作成しました。